

HD-SDI Digital Video Recorder

---

# 取扱説明書

WEBGATE HDC442F-PD

この製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
製品を快適にご使用頂くために、この取扱説明書を注意してお読みください。  
また、後日もお使い頂けますように、本書を大切に保管してください。

## 著作権 / 認証 / 商標 / 限定保証

### 著作権

このマニュアルは著作権法により、事前の許可なしでいずれのコンテンツも転載や複写は認められておりません。

### 認証

CE、FCC、KCC、RoHS

### 商標

イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。  
マイクロソフト、MS-DOS、Windows、Internet Explorer、および Windows NT は  
米国および他の国におけるマイクロソフト社の登録商標です。

### 限定保証

製造業者、輸入業者、および販売店は、偶発的な損害（損傷・負傷を含む）また不適切な使用や操作によって起こされた損害に、一切の責任を負いません。

### 警告

製品を適切に操作して頂くために、製品を操作する前にすべての安全上の警告事項をよくお読みいただき、ご理解のうえ、正しくお使いください。

警告は Danger、Warning、Caution および Important に分類されます。

上記の警告は、システムの不適切な使用のために起こるかもしれない損害の程度を示します。

 Danger	死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。 最大の危険警告です。
 Warning	損傷の危険性あり。 製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。
 Caution	軽傷または損害の危険性あり。 操作に関する要件または制限。
 Important	お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を 注意してお読みください。

	<p>死亡または大怪我（重傷）の危険性あり。 最大の危険警告です。</p>
---	---

- 電池を交換する際に誤った種類のものとは交換しますと、爆発する可能性があります。また、使用済みの電池は正しい方法に従って処分してください。
- この製品は室内で使用するために作られています。
- 取扱説明書または製品仕様書の中で示されている電源電圧でご使用ください。また、付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。
- 感電の恐れがありますので、火や水の近くまたは湿気の多いところでは製品を使用しないでください。
- 電源ケーブルコードの上に重いものを置かないでください。電源ケーブルコードが損傷し発火や感電の原因となります。
- 製品の上に液体の入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、内部に入ると発火や感電、故障を引き起こす原因となります。
- 電源ケーブルコードを切りつける、曲げる、ねじる、引っ張る、または加熱するなどの行為はしないでください。電源ケーブルコードの損傷は発火と感電につながります。
- 製品の天板を取り除かないでください。感電する恐れがあります。内部検査やメンテナンスが必要な場合は、ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 分解や改造など、製品内部に手を加えないでください。発火や感電の原因となります。
- 異臭・発煙・異常音を感じた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- 製品を落下させたり、破損させた場合は、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに使い続けると、発火や感電する恐れがあります。ご購入いただきました販売代理店に連絡してください。
- ぬれた手で製品に触れないでください。感電する恐れがあります。

	<p>損傷の危険性あり。 製品やその周囲の財産への物的損害をもたらす危険性あり。</p>
---	--

- 電源ケーブルやコードなどは、足でひっかけるといった場所に配線しないでください。つまづいて怪我をすることがあります。
- 水・飲料または液体との接触を避けてください。修理不可能な損傷をもたらす原因となります。
- 雷の時には、直ちにシステムをシャットダウンして、電源コードを電源コンセントから抜いてください。製品の破損の原因になります。
- 電源が入った状態で外部装置を接続しないでください。製品またはカメラからの過度な電流により感電の恐れがあります。

 <b>Caution</b>	<p>軽傷または損害の危険性あり。 操作に関する要件または制限。</p>
---	--

- 異物が製品についてしまった場合、やわらかい布切れを使用して取り除いてください。異物を取り除くために化学薬品（シンナー、溶媒など）を使わないでください。
- 以下の場所に製品を設置したり、操作を行わないでください。
  - 極端に高温/低温、温度差が激しい場所
  - 湿度の高い場所またはエアコン付近、温度変化の激しい場所
  - ほこりの多い場所
  - 製品の上面や側面にある換気孔から放熱することができない場所
- クレジットカード/テレホンカード/銀行預金口座通帳/チケットなどの磁気特性のあるものを製品のそばに置かないでください。
- 静電気は製品の内部部品に損害をもたらす恐れがあります。リヤパネルと製品内部に触れる前に、身体から静電気を取り除いてください。
- この製品を処分する際は、各地域の産廃物処分の規則にしたがって正しく処理してください。

 <b>Important</b>	<p>お客様が怪我なく適切に製品を操作できますように関連詳細を注意してお読みください。</p>
--	---

- 電源が不安定な状態や感電が起こる状態では、製品は正常に作動しません。適切な定格出力であることをご確認ください。
- 製品は停電の際に設定を保持するように設計されていますが、停電による電源電圧変化などにより、製品データの破損などの損害を受ける可能性があります。データ保護や録画を正常に継続するには
- 無停電電源装置 (UPS) をご利用ください。
- 製品は、ビデオデータをハードディスクに録画できるように設計されていますが、ハードディスクやその他のエラーにより、適切に録画されない可能性があります。製品の定期的なメンテナンスを行ってください。
- 製品は使用者が設定を変更できるように設計されていますが、誤った設定を行うと誤動作をもたらすことがあります。
- 製品は公認された設置業者によってのみセットアップしてください。
- 製品が接続されてからの外部アクセサリ（カメラ、センサー、LAN、ハードディスクなど）の接続は、外部不良の誤動作のリスクを招きます。公認された設置業者によって定期メンテナンスを行ってください。
- 製品のラックへの設置には、専用のラック取付金具をご使用ください。
- 本製品では、1KB=1024B、1MB=1024KB、1GB=1024MBと換算して数値を表記しております。

## 警告

- 日光が直接当たる場所や発熱体から近い場所への製品の設置は避けてください。(出火の原因となります。)
- 製品の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬、また液体を入れた入れ物などを置かないでください。(落下により出火、感電、または人・物に障害を与える恐れがあります。)
- 金属物(コイン、ヘアピン)や可燃物(マッチ、紙)を通気孔に挿入したり落としたりしないでください。(出火や感電を引き起こす原因となります。)
- 製品の上に重い物を置かないでください。(落下や破壊によって人・物に損傷を負わせる原因となります。)
- 電源プラグは抜けないようにしっかりと差し込んでください。(出火の原因となります。)
- 稲妻や雷が鳴っている場合、システムをシャットダウンしてください。(雷の影響を受ける場合があります。)
- 製品をクリーニングする時は、乾いたタオルで表面を拭いて下さい。化学薬品やクリーナーを使用すると色に変色したり塗料が剥げる恐れがあります。
- 一度にいくつものプラグをタコ足配線で使用しないでください。(感電の恐れがあります。) 煙または異臭を感じた場合、操作をお止めください。この場合、直ぐに電源を切りプラグを抜いてください。その後、ご購入いただきました販売代理店にご連絡ください。(そのままご使用になりますと、出火や感電の原因となります。)
- コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。(コードが破損する恐れがあり、出火や感電を起こす場合があります。)
- 濡れた手でプラグを抜いたり差し込んだりしないで下さい。(感電の原因となります。)
- 電源コードをねじったりしないで下さい。(出火や感電を引き起こす原因となります。)
- 適切なアダプターをご使用下さい。(あまりに多くの電力を使用しますと、出火や感電を引き起こす場合があります。)
- 雨風が当たる場所に設置しないで下さい。(出火、感電、またその他の故障の原因となります。)
- 火、また出火しやすい場所から離してください。(出火の原因となります。)
- 分解や改造などはしないで下さい。(感電や故障の原因となります。)
- 可燃性スプレーのような可燃性のものを側に置かないで下さい。(出火の原因となります。)
- ほこりの多い場所に設置しないで下さい。(出火の原因となります。)
- 揺らぐテーブルの上や傾斜場所のような不安定な場所に設置をしないで下さい。(落下により人・物に障害を与える危険性があります。)
- 重い物を電源コードの上に置いたり、またデバイスの圧迫にもご注意下さい。(出火や感電の原因となります。)
- エクステンションコードをご使用になるときは、同時に数台のデバイスのご使用は避けてください。(異常な加熱により発火する恐れがあります。)
- 電源プラグピンまたはコンセントの上に土ぼりがあるときには、丁寧に掃除してください。(出火の原因となります。)
- 電源コードやプラグを、曲げたり、ねじったり、または引っ掛けたりしないで下さい。また、熱い場所に置かないでください。コンセントの挿入部分がピッタリと入らない場合は、使用しないで下さい。(出火や感電の原因となります。)
- 製品を落下させたり衝撃を与えたりしないで下さい。(人に障害を与えたり、製品の故障の原因となります。)
- 電源アダプターに触れないで下さい。(感電する恐れがあります。)
- 冷却用ファンの開口部を塞がないで下さい。(発火の原因となります。)
- 不適当な電池交換をしますと、爆発する危険性があります。
- ご使用済みの電池は、正しい方法により処分して下さい。
- 幼児が間違っって電池を口にしない様に、気を付けて下さい。(もし幼児が電池を飲み込んでしまった場合は、直ちに医師にご連絡下さい。)

.....

## 目次

著作権 / 認証 / 商標 / 限定保証 .....	2
<b>第 1 章 本体構成説明 .....</b>	<b>9</b>
1 製品の構成と名称 .....	10
1-1 構成品 .....	10
1-2 製品の説明 .....	10
2 設置 .....	13
2-1 設置環境のチェック .....	13
2-2 HDD 装着時の注意事項 .....	13
3 他の機器との接続 .....	13
3-1 基本的な接続 .....	13
3-2 モニターの接続 .....	13
3-3 カメラの接続 .....	14
3-4 PoC カメラ .....	14
3-5 オーディオの接続 .....	14
3-6 USB デバイスの接続 .....	14
3-7 eSATA 接続 .....	14
4 入出力端子の接続 .....	15
4-1 電線の先端処理方法 .....	15
4-2 電線の挿入 / 取り外し方法 .....	15
4-3 センサーの接続 .....	15
4-4 センサー入力端子の接続 .....	15
4-5 リレーの接続 .....	16
4-6 COM1 シリアルポート、外部機器との接続 .....	16
4-8 シリアルポート 2 個を使用した構成 .....	17
<b>第 2 章 本体取扱説明 .....</b>	<b>19</b>
1 監視画面 .....	20
1-1 ライブ画面 .....	20
1-2 単画面 .....	20
1-3 分割画面 .....	20
1-4 ステータスバー .....	20
2 各種設定 .....	25
2-1 システム .....	25
2-2 ネットワーク .....	32
2-3 デバイス .....	34
2-4 イベント .....	37
2-5 録画 .....	40
4 検索 .....	42
5 コピー (バックアップ) .....	45

5-1	EXE コピー	45
5-2	AVI コピー	46
5-3	コピー再生	47
5-4	miniplayer 説明	49
6	Webビューワー	52
6-1	PC 推奨環境について	52
6-2	ログイン	52
6-3	モニター	54

### 第 3 章 Control Center Std 取扱説明 63

1	製品概要	64
1-1	Control Center について	64
1-2	PC 推奨環境について	64
1-3	プログラムインストール	64
1-4	クイックスタート	67
2	Control Center Monitor	69
2-1	画面	69
3	Control Center Playback	76
3-1	画面	76
3-2	ユニット / バックアップファイルを開く	77
3-3	検索	77
3-4	録画再生	78
3-5	静止画	79
3-6	バックアップ	80
4	Control Center Configuration Tool	81
4-1	画面	81

### 第 4 章 WNS (Webgate Naming Service) 設定手順 83

資料	87
----	----



# 第1章 本体構成説明

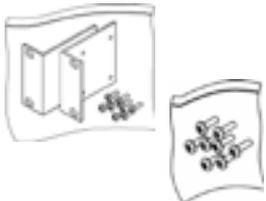
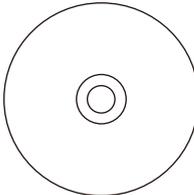
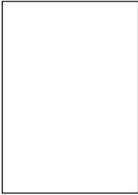
取扱説明は、原則として製品が発売された当初のものを掲載しています。  
従って、記載内容とお客様がお持ちの製品の仕様が、その後のマイナーチェンジなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

# 1 製品の構成と名称

## 1-1 構成品

製品購入時付属のコンポーネントが含まれているかどうかを確認してください。

### ■ HDC442F-PD

			
DVR	リモコン & 電池	マウス	電源コード
			
PoC アダプタ	HDD ブラケット & ネジ	ソフトウェア & マニュアル CD	簡易取扱説明書

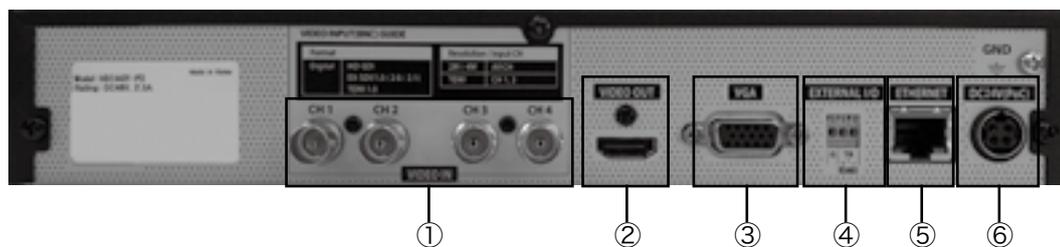
## 1-2 製品の説明

### 1-2-1 HDC442F-PD 前面パネル



名称	機能
① REC	録画が進行中であるときに点灯して録画状態を表示します。
① NET	ネットワークに接続された時に点滅動作して、ネットワーク接続を示しています。
POWER	電源 ON のときに点灯します。
② USB ポート	USB メモリ、USB マウスのための接続端子です。

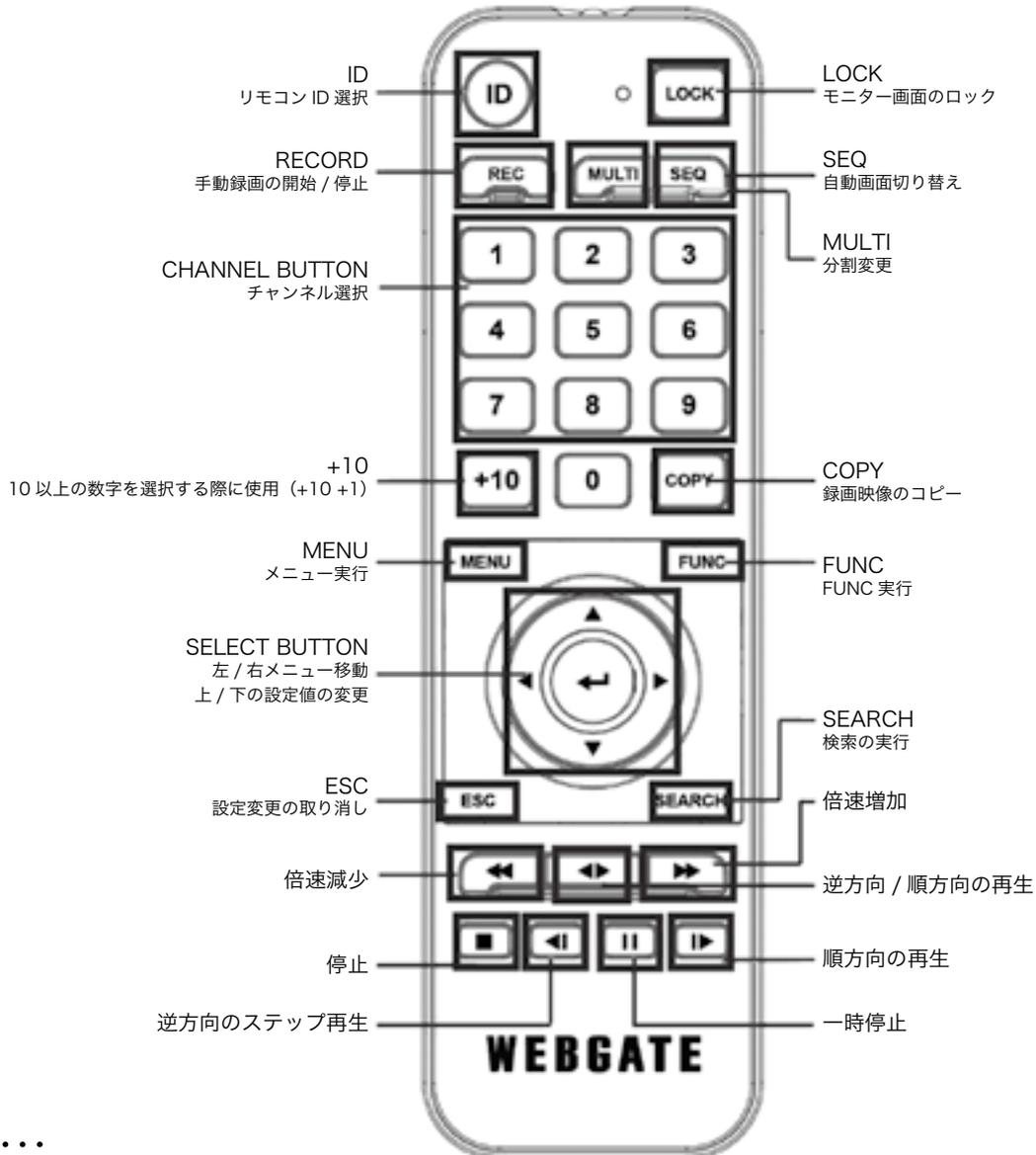
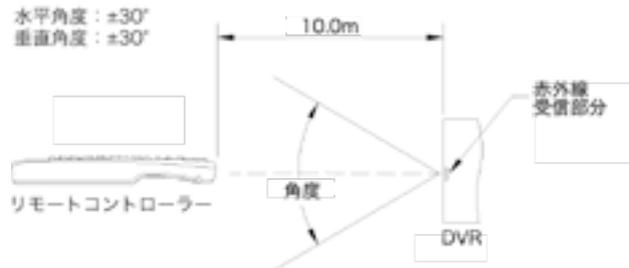
### 1-2-2 HDC442F-PD 前面パネル



名称	機能
① ビデオ入力	HD-SDIカメラ入力用BNCコネクター
② ビデオ出力	HDMIモニター用コネクター
③ ビデオ出力	VGAモニター用出力端子
④ 外部I/O	RS485デバイス用
⑤ イーサネット	ネットワーク接続端子
⑥ DC24V (PoC用)	PoCカメラ用電源アダプター端子

### 1-2-9 リモコン

製品のすべての機能を実行することができます。また、一つのリモコンで複数の製品を操作できます。リモコンを使用するには、システム設定のリモコンIDの部分で使用するIDを設定する必要があります。リモコン1台で最大16台のDVRを操作できます。



## リモコンIDを設定

メニュー→システム→ツール

本製品を複数で使用する場合、リモコンIDを区別して1つのリモコンで複数の製品を操作することができます。リモコンIDは1～16まで設定可能で、すべてのIDを使用したい場合は[全部]を設定します。

## リモコンID選択

異なるIDが設定された多数の製品を一つのリモコンで選択して操作することができます。必要なDVRを選択するには、2秒程度のBEEP音が鳴るまでリモコンのIDボタンを押します。



## 2 設置

### 2-1 設置環境のチェック

製品の内部温度が高い場合、寿命が短くなったり、障害が発生することがありますので、インストール前に、以下の推奨事項を参照してください。

ここでは、DVR をラックに設置する場合の推奨事項です。

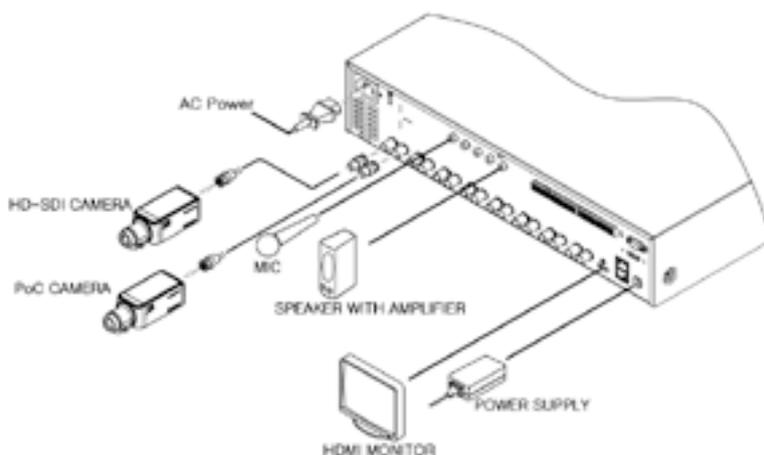
1. DVRが設置されているラック内を密閉しないようにします。
2. 吸入口と排気口を通した空気の循環を円滑にします。
3. 製品を積層する場合、一定のスペースを確保したり、空気の循環経路を設けてください。
4. 各吸入口と排気口には空気循環用のファンを設置することを強くお勧めします。  
(プロジェクトの通気排気口の開口部にろ過フィルターを設置します。)
5. DVR周囲の温度が、0°C～40°Cになるよう保持します。

### 2-2 HDD 装着時の注意事項

1. HDDは衝撃に非常に弱い製品でDVRに装着する際にHDDに衝撃が加わらないように十分に取り扱いに注意してください。
2. 作業時のケーブルが不適切な場所に引っかかったり、絶縁被覆が剥がれたりしないように注意してください。
3. ネジや部品をなくさないように注意してください。  
(ネジや部品が正常に使われていない場合は、製品に故障が発生するなど、正常に動作しない可能性があります。)
4. HDDを追加する前に、サポートしている互換性リストのHDDを確認してください。  
(互換性リストは、弊社CSチームにお問い合わせください。)
5. PCや他のDVRモデルで使用していたHDDは、パーティションテーブルを削除しないと使用できません。

## 3 他の機器との接続

### 3-1 基本的な接続



### 3-2 モニターの接続

モニターがサポートする解像度を最初に確認し、モニターを接続します。

HDMIポート使用時：1920×1080p (HDMI v1.2 Standard)

<ご注意>

HD-SDI規格に準ずるカメラを使用してください。

モニターのHDMI入力か、1080p60に対応しているかご確認ください。

### 3-3 カメラの接続

HD-SDIカメラをDVRに接続する場合、推奨された同軸ケーブルをお使いください。

接続されたカメラの解像度(1080p or 720p)は、DVRが立ち上がった際、自動的にDVRに認識されます。同じ解像度のカメラをDVRに接続するようになしてください。異なった解像度のカメラを混ぜて接続することはできません。

### 3-4 PoCカメラ

PoC専用カメラとPoCアダプタをDVRに接続するとワンケーブルで電源を供給します。

また、PoCカメラはRS-485の制御線なしでDVRのCoC機能を用いてワンケーブルでカメラを制御することができます。

### 3-5 オーディオの接続

RCAケーブルを使用して、図のようにDVRのオーディオ入力デバイスを接続します。

### 3-6 USBデバイスの接続

USBポートで、保存映像のコピーとUSBマウスを使用することができます。

USBデバイスの定格は、以下の仕様を超えないようにします。

USBバージョン	Ver 2.0
使用可能デバイス	USBメモリスティック
出力電圧 / 電流	各 DC 5V 最大 200mA

<参考>

対象USBメモリはFAT32でフォーマットされている必要があります。

### 3-7 eSATA接続

外付けeSATAを使用する場合は、背面1ポートに接続して使用でき、DVRは電源を供給していないため、外部電源を使用している機器のみ使用できます。

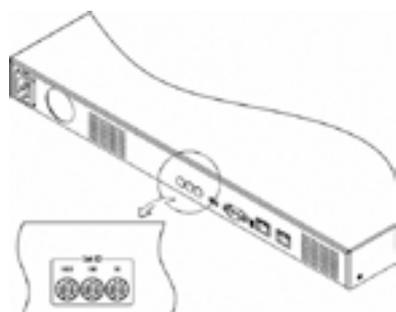
### 3-8 NS04R接続

DVRとの接続

ギガビットイーサネットを使用してDVR背面のストレージポートと接続します。

※DVRに接続するネットワークケーブルはギガビットイーサネットを使用しない場合は、接続されない場合があります。NS04RとDVRは直接ケーブルで接続する必要がありHUBなどを使用する場合は正常な動作を保証できません。

### SET ID 設定



NS04Rの背面にあるロータリースイッチを使用して、IDの設定を行います。2台以上のNS04Rを接続する場合はIDを個別に設定する必要があります。

100xスイッチに設定された値は100単位のID値を、10xスイッチに設定された値は10単位のID値及び1xスイッチに設定された値は1単位のID値に設定されます。IDの設定値は必ず2～254の範囲で設定してください。

【例】100x=1、10x=2、1x=3に設定したときはID123に設定されます。

## 4 入出力端子の接続

### 4-1 電線の先端処理方法

ターミナルブロックの使用電線の終端処理方法は以下の通りで、単線や撚り線を使用する場合は、使用可能な線の太さが異なりますので注意して作業します。

- 撚り線：線を指定した長さ (8 ~ 10mm) だけ剥いて、芯線に半田を付けて使用します。
- 単線：電線を指定された長さ (8 ~ 10mm) だけ剥いて使用しています。

### 4-2 電線の挿入 / 取り外し方法

ターミナルブロックに電線を挿入 / 削除するときは、図のようにレバーを押して、電線を挿入、または取り外します。

#### 参照

1. eSATA は、場合によっては DVR と互換性のない製品がありますので、必ずご使用前に販売店に連絡し、互換性を確認し購入してください。
2. DVR が動作中に eSATA を接続しても認識が正常にするか、外付けデバイスに基づいて認識ができない場合があります。したがって、次の順序で接続することをお勧めします。
  - ① DVR の電源を OFF します。
  - ② eSATA の電源を OFF した状態で、DVR に接続します。
  - ③ eSATA の電源を ON します。
  - ④ DVR の電源を ON します。

### 4-3 センサーの接続

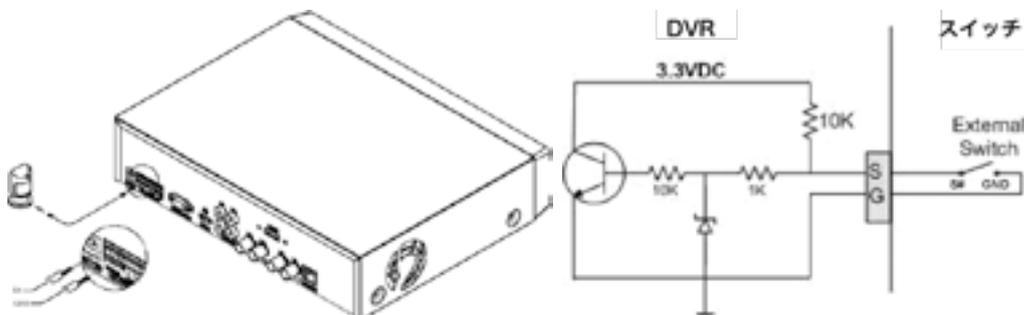
#### 仕様

センサー入力は、以下のような仕様と通常の動作条件があります。

諸元	入力回路数	4
	入力フォーム	N.C、N.O サポート
	サポートセンサー	無電源接点 (ドライ接点) センサー
	接続方法	ターミナルブロックに被覆を剥いた電線を接続して使用
電気的 性能	有効な入力パルス幅	最小 500ms
	出力電流	Typical DC 12mA

### 4-4 センサー入力端子の接続

センサー入力は、次の図を参照して接続します。下の図は、無電源接点 (ドライ接点) を持つセンサーを接続する例を示します。電線を接続または取り外す場合、「電線の取り扱い」を参照してください。



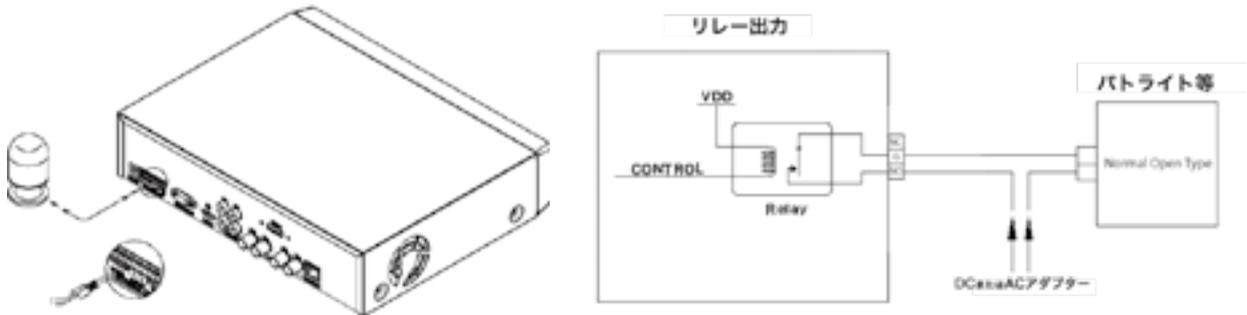
## 4-5 リレーの接続

### 仕様

アラーム出力は、以下のような仕様と通常の動作条件があります。

R1～4の出力は、下の図を参照して接続します。警告灯を接続する例を示します。電線を接続または取り外す場合、15ページの「4-1 電線の先端処理方法」を参照してください。

諸元	出力回路数	2つのリレー出力
	出力方式	無電源接点(ドライ接点)
	接続方法	ターミナルブロックに被覆を剥いた電線を接続して使用
定格	DC	30V 1A
	AC	125V 0.5A



## 4-6 COM1 シリアルポート、外部機器との接続

### テキスト入力機器との接続 (ATM/POS/Access Control)

COM1/RS232 通信端子を利用して、POS/ATMのような機器から出力されるテキストデータを映像情報と連動して一緒に録画することができます。

#### 参照

各COMポートごとに1つのデバイスを接続して使用することをお勧めします。一つのCOMポートに複数のデバイスを接続して使用するためには、関連した専門知識が必要であり、ユーザーが勝手な接続をした場合には、機器の故障や動作不能などの問題が発生する可能性があります。



## 4-7 PTZカメラ及びコントローラーの接続

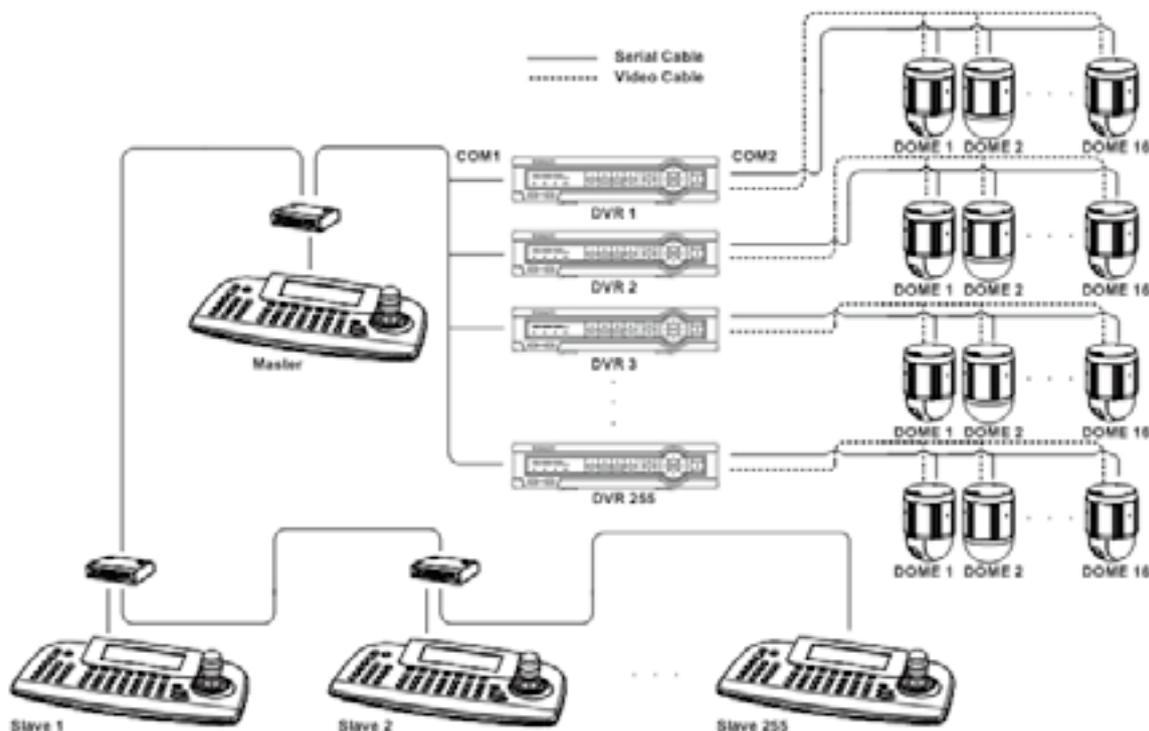
コントローラーを用いて、最大16台のDVRを接続して使用が可能です。DVRのすべてのボタン操作が可能で、DVRに接続されたすべてのチャンネルに対してPTZカメラ操作が可能です。また、複数台のコントローラーをSlaveに拡張接続し、マスターコントローラーで制約を受けずに使用できます。この時点ですべての操作に対する優先順位は、マスターコントローラーが与えられます。

PTZカメラとコントローラーの詳しい接続や操作方法は、PTZカメラデバイスとコントローラーに付属のマニュアルを参照してください。

#### 4-8 シリアルポート2個を使用した構成

PTZカメラとキーボードは、DVRの2つのシリアルポートに接続できます。この場合、キーボードで、DVRとPTZカメラを同時にコントロールすることができます。また、DVRは、PTZカメラをコントロールできます。

操作接続	連結装置
コントローラー (Master/Slave)	すべてのDVR操作可能、すべてのPTZカメラの操作が可能
DVR	DVRに直接接続されたPTZカメラの操作が可能



#### 4-9 シリアルポート1つを使用した構成

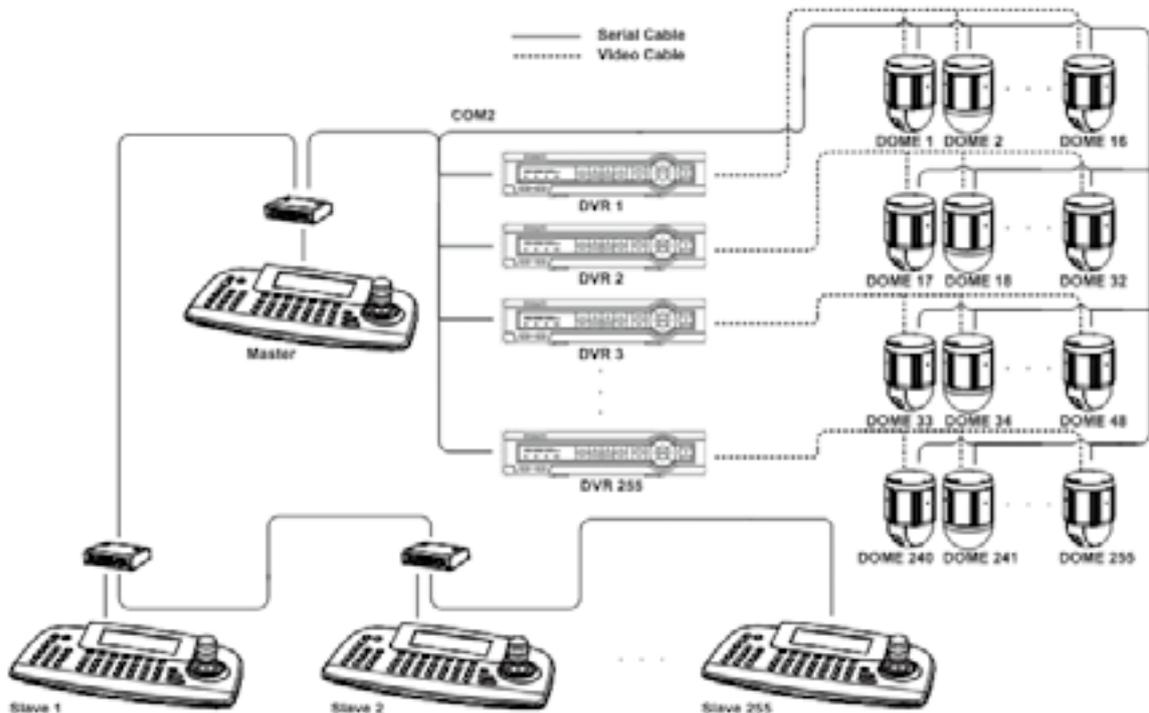
1つのシリアルポートを使って、PTZとキーボードを一つのポートに接続することができます。また、キーボードでPTZを選択することも可能です。DVRのCOMポートの設定により、接続された制御可能な機器が選ぶことができます。また、DVR IDを選ぶことにより、キーボードでいくつかのDVRが制御可能になります。

DVRのCOMポートにPTZデバイスを設定した場合は、以下のように使用することができます。

操作接続	連結装置
コントローラー (Master/Slave)	すべてのDVR操作できません / 全てのPTZデバイスの操作が可能
DVR	DVRに直接接続されたPTZのみを操作可能

DVRのCOMポートにコントローラーを設定した場合は、以下のように使用することができます。

操作接続	連結装置
キーボード (Master/Slave)	すべてのDVR操作可能 / 全てのPTZデバイスの操作が可能
DVR	すべてのPTZ装置操作ができません



## 5 使用するメニューの構成

フロント・パネルのキーパッドで、[MENU] ボタンを押すか、マウスを右クリックし、[システム]→[メニュー] ボタンまたはステータスバーの[メニュー] をクリックすると設定画面に入り、下の図のようにメニューが表示されます。メニューから出るには、[X] ボタンを選択します。

①メインメニュー：現在選択された項目は、青色になり、画面の上部に項目の名前が表示されます。項目間の移動は[◀/▶]を利用し、サブメニューへの移動は[Enter] ボタンを押してください。マウス使用時には、希望のメニューをクリックしてください。

②サブメニュー：現在選択された項目は、項目のタイトルが表示され、サブメニュー項目に対応する設定ダイアログボックスが表示されます。項目間の移動は[◀/▶/▲/▼]を利用するか、マウスで項目をクリックしてください。設定ダイアログボックスでの移動は[Enter] ボタンを押すか、マウスでクリックしてください。

③設定ダイアログボックス：選択した項目は青色で表示され、項目間の移動は[▲/▼/◀/▶]カーソルキーを使用するか、マウスで項目をクリックします。この項目を設定したい場合は、[Enter] ボタンを押すか、マウスで項目をクリックします。項目値の属性は、文字列（英/数を含む）と数字で区別することができ、文字列の場合は、[文字列の入力]ダイアログボックスが表示され、文字列を入力するようになり、数値の場合は、その値を[▲/▼/◀/▶]カーソルキーを使用するか、マウスで文字をクリックして入力します。入力が終わったら、マウスで[Enter] ボタンをクリックします。また、上位サブメニューへ移動したい場合には項目をマウスでクリックします。



# 第 2 章 本体取扱説明



# 1 監視画面

## 1-1 ライブ画面

DVRの電源を入れると自動的に監視ライブ画面になります。



## 1-2 単画面

単画面表示したいカメラ画面をマウスでクリックするか本体のパネルの番号を押す、もしくはリモコンで対応した番号を押すと1画面表示します。



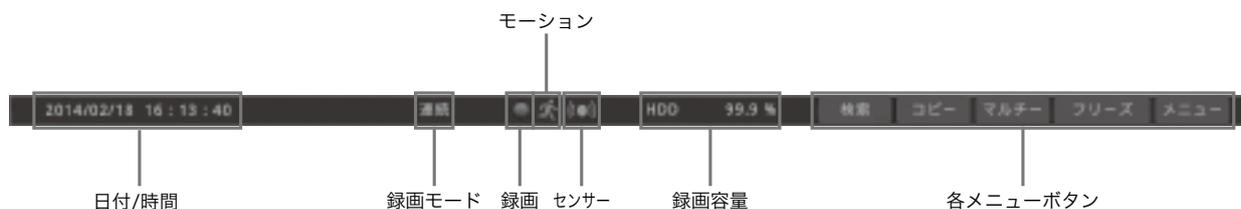
## 1-3 分割画面

単画面表示を分割表示にする場合は本体もしくはリモコンで【MULTI】ボタンを押すか、マウスでダブルクリックします。

## 1-4 ステータスバー

監視画面下にあるステータスバーは、現在の日付・録画設定状態・イベント検出などDVRの現在の状態を表示します。

ステータスバー右側には「検索」「コピー」「マルチ」「フリーズ」「メニュー」のボタンがありマウスで選択することができます。



ライブ画面上でマウスを右クリックもしくは本体の【FUNC】ボタンを押すと下図のようなウィンドウが表示されます。

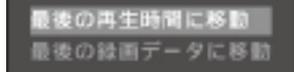


### ①検索

この項目は検索に入ります。ここからの検索は2種類のみです。「最後の再生時間に移動」と「最後の録画データに移動」となります。

「最後の再生時間に移動」：前回の再生の続きを確認した場合選択します。

「最後の録画データに移動」：再生可能な一番新しいデータを確認したい場合選択します。



### ②コピー

この項目は、録画データのバックアップを行うものです。詳細は、45ページの「5 コピー（バックアップ）」をご参照ください。

### ③ツール

この項目を選択すると右図のようになります。

- (1) PTZ
- (2) インスタントPTZ
- (3) カメラ設定
- (4) マルチ
- (5) シーケンス
- (6) ユーザー設定
- (7) デジタルズーム
- (8) フリーズ
- (9) 手動リレー
- (10) マニュアル録画

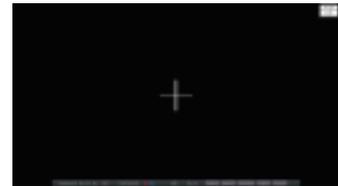
### (1) PTZ

この項目はPTZ設定をしているカメラがある場合に使用します。右図のようにメニューが表示されますので、手動でパン/チルトズームなどの操作が可能です。



### (2) インスタント PTZ

この項目はPTZ設定をしているカメラがある場合に使用します。インスタント設定にチェックを入れているカメラ画面に+の表示が出ます。マウスでクリックするとパン/チルト、トラックボールでズームなどが操作可能です。



### (3) カメラ設定

DVRにRS485などの制御を接続していたり、CoCを利用してカメラ設定を行うことが可能です。

「チャンネル」でカメラ番号を指定します。

「カメラ設定」と  を選択するとカメラのメニューが表示されます。上下左右のボタンでカーソルを移動させます。



### (4) マルチ

画面の分割表示を選択します。



### (5) シーケンス

選択すると画面表示が単画面の切替わり画面になります。

モニターの右上の方にSEQと表示されます。表示されている間はシーケンスモードです。シーケンスモードを解除する場合は、右クリックしツール⇒シーケンスを選択するか、右クリックしツール⇒マルチから16分割画面を選択してください。

### (6) ユーザー設定

現在の表示されている画面をカスタム設定として画面登録することが可能です。ユーザー設定を選択すると右図の画面が表示されます。

カスタム設定はA～C3つに登録可能です。設定を保存するには際には必ず「設定」ボタンを選択してください。



### (7) デジタルズーム

この項目は画面のデジタルズームです。分割画面では選択できません。単画面表示した状態で選択可能になります。デジタルズーム機能が働いていると画面右上に右図のような表示が出ます。

ズームは最大10倍まで可能です。

ズーム位置は「↑」「↓」「←」「→」ボタンで調整できます。ズーム機能を解除する場合は「X」ボタンを選択します。



## (8) フリーズ

この項目はライブ画面のフリーズボタンです。ライブ画面がフリーズします。フリーズ機能が働いていると画面右上に「FREEZE」と表示されます。フリーズを解除する場合は本体の【ESC】ボタンまたはマウスで画面の「FREEZE」表示を選択します。

## (9) 手動リレー

この項目は手動でリレーをオン・オフする機能です。

## (10) マニュアル録画

この項目は録画設定でマニュアル録画を選択している場合、使用可能です。手動で録画を開始したり、録画を停止したりできます。

## ④情報

この項目を選択すると右図のようになります。

- (1) 画面表示情報
- (2) 録画
- (3) ディスク
- (4) システム
- (5) PoC

## (1) 画面表示情報

この項目はカメラの名称やステータスバーの表示方法などが設定できます。選択すると下図のように表示されます。

### A. チャンネル名

この項目はチャンネル名の表示を変更できます。A  
表示させたいものを選択します。

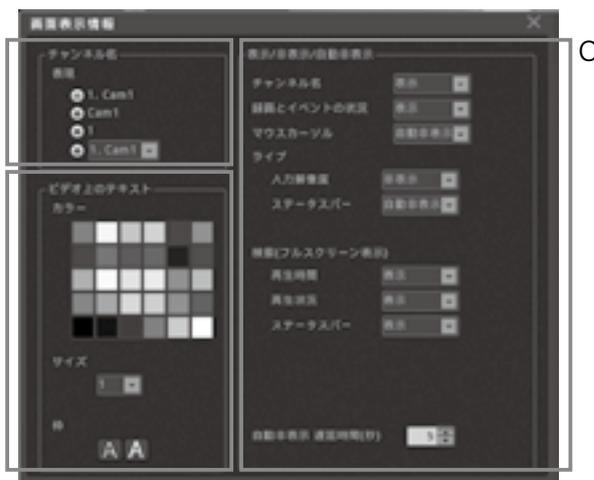
 左図の項目を選択した場合、 ボタンを選択することによりカメラの位置を変更できます。B  
ただし、分割画面を選択し直すと元に戻ります。

### B. ビデオ上のテキスト

この項目は表示の色・サイズ・枠を変更できます。  
変更したい項目を選択します。

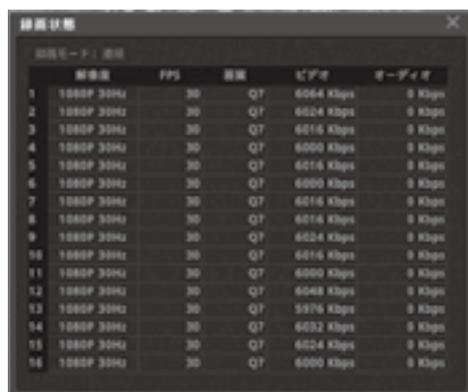
### C. 表示 / 非表示 / 自動非表示

この項目はチャンネル名などの表示を設定します。  
各項目で「表示」「非表示」「自動非表示」から選択します。  
「自動非表示」を選択した場合、「自動非表示 遅延時間 (秒)」から秒数を (3 ~ 300) の間で設定します。



## (2) 録画

この項目は現在の録画設定を確認できます。



録画モード	画質	解像度	FPS	音質	ビデオ	オーディオ
1	1080P	30Hz	30	QT	6084 Kbps	8 Kbps
2	1080P	30Hz	30	QT	6024 Kbps	8 Kbps
3	1080P	30Hz	30	QT	6016 Kbps	8 Kbps
4	1080P	30Hz	30	QT	6000 Kbps	8 Kbps
5	1080P	30Hz	30	QT	6016 Kbps	8 Kbps
6	1080P	30Hz	30	QT	6000 Kbps	8 Kbps
7	1080P	30Hz	30	QT	6016 Kbps	8 Kbps
8	1080P	30Hz	30	QT	6016 Kbps	8 Kbps
9	1080P	30Hz	30	QT	6024 Kbps	8 Kbps
10	1080P	30Hz	30	QT	6016 Kbps	8 Kbps
11	1080P	30Hz	30	QT	6000 Kbps	8 Kbps
12	1080P	30Hz	30	QT	6048 Kbps	8 Kbps
13	1080P	30Hz	30	QT	5976 Kbps	8 Kbps
14	1080P	30Hz	30	QT	6024 Kbps	8 Kbps
15	1080P	30Hz	30	QT	6024 Kbps	8 Kbps
16	1080P	30Hz	30	QT	6000 Kbps	8 Kbps

### (3) ディスク

この項目は現在のディスク状況を確認できます。



### (4) システム

この項目はシステム状況を確認できます。  
DVRのファームウェアやシリアルナンバー、搭載されているHDD容量などが確認できます。



### (5) PoC

この項目はPoCカメラとの接続状況を確認できます。  
接続されているカメラがPoCカメラかどうかの確認が可能です。

※この項目はPoC対応のDVR(型番にPがついている機種)のみとなります。



### ⑤システム

この項目を選択すると右図のようになります。

- (1) メニュー
- (2) ロック
- (3) ログアウト
- (4) 電源オフ

#### (1) メニュー

この項目を選択するとDVRのメニューに入ります。詳しくは25ページの「2 各種設定」をご参照ください。

#### (2) ロック

この項目を選択すると右図のようになります。

DVRにロックをかけたい場合は「はい」を選択します。  
マウスでクリックもしくは本体のフロントボタンを押すと右図のようになります。

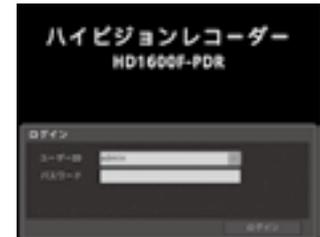
ロックを解除したい場合は、「ユーザー ID」を選択し、選択したIDのパスワードを入力して「ロック解除」ボタンを選択します。



### (3) ログアウト

この項目を選択すると右図のようになります。

パスワードを入力し、ログインしなければ画面が立ち上がりませんので、ご注意ください。



### (4) 電源オフ

この項目はDVR本体の電源を切る場合に使用します。

選択すると右図のようになります。

電源を切らない場合は、「いいえ」を選択します。

電源を切る場合は「はい」を選択します。

「はい」を選択すると自動的に電源が切れますのでそのままお待ちください。



**ⓘ 注意** DVR本体を終了する場合は必ず、この方法で終了させてください。  
正常に電源を終了しないと故障の原因となります。

## 2 各種設定

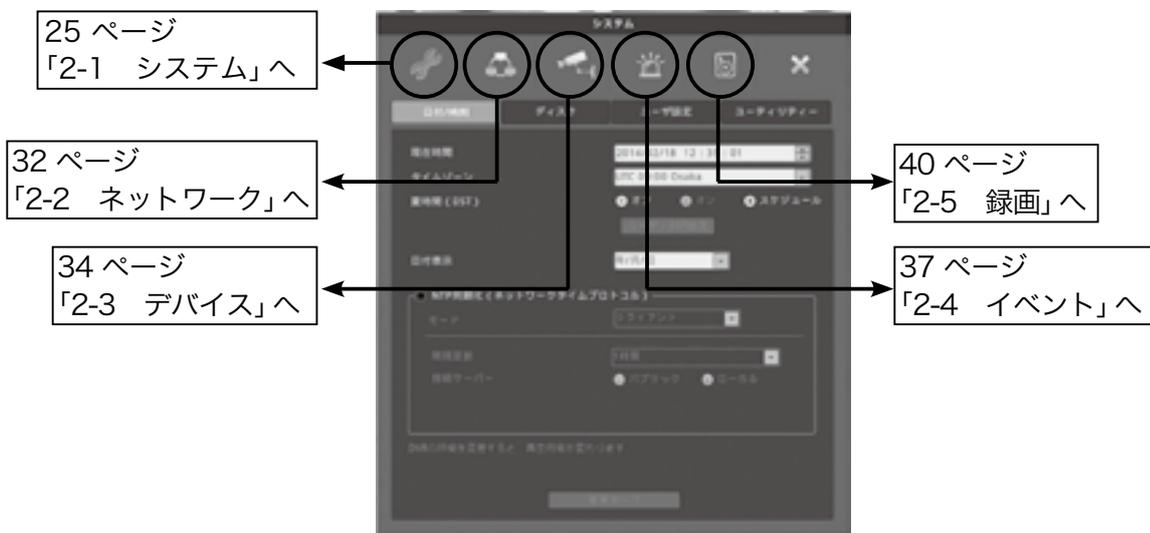
監視画面でマウスを右クリックもしくは本体【FUNC】ボタン、リモコンの【HELP】ボタンを押すと下図の表示が出ます。



[システム] を選択するとその隣に別項目が表示されます。  
その中の [メニュー] を選択します。

またはステータスバー右側の [メニュー] を選択します。  
※本体の【MENU】ボタン、またはリモコンの【MENU】ボタンを押しても選択できます。

### メニュー



### 2-1 システム

設定画面は次のようになります。

#### 2-1-1 日付/時刻



- (1) 現在時刻：現在時刻の修正を手動で設定できます。
- (2) タイムゾーン：DVRを使用する地域のタイムゾーンを選択できます。

サマータイム (DST)：[オフ]、[オン]、[スケジュール] を選択できます。ユーザー DST 設定を選択すると下図のようになります。



(3) 日付表示：日付表示パターンを選択します。[ ] ボタンで選択します。

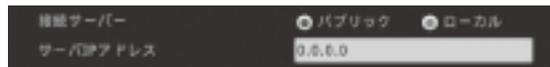
(4) NTP同期化 (ネットワークタイムプロトコル)：NTPを設定する場合下図の画面で設定します。



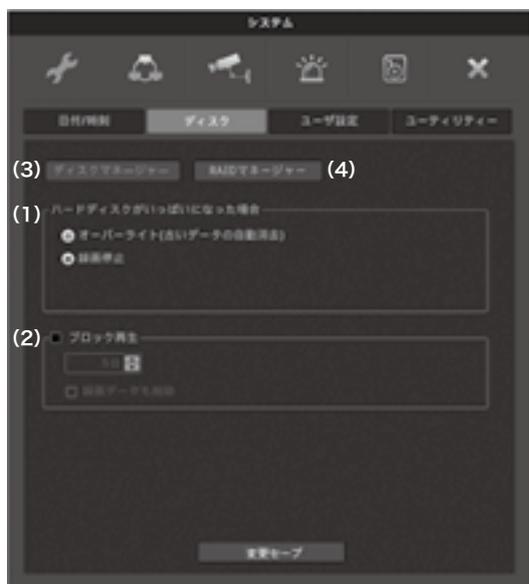
モード：[クライアント]、[サーバー]、[クライアント+サーバー] から選択します。

更新間隔：[1時間]、[3時間]、[6時間]、[12時間]、[24時間] から選択します。

接続サーバー：[パブリック]、[ローカル] から選択します。  
[ローカル] を選択した場合は、サーバー IP アドレスを入力する項目が表示されます (下図) のでアドレスを入力します。



## 2-1-2 ディスク



(1) 録画方法

(2) ブロック再生

(3) ディスクマネージャー

(4) RAID マネージャー

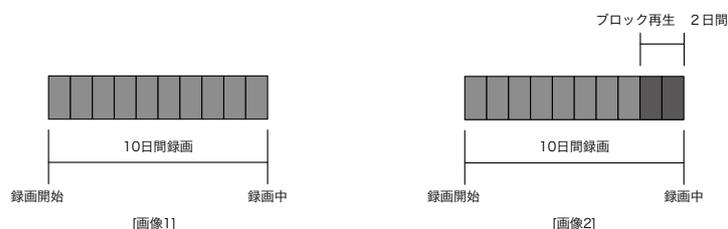
(1) 録画方法

オーバーライト (古いデータの自動消去)：チェックをすると HDD 容量が一杯になった場合、古いデータを削除して上書きを続けます。

録画停止：チェックをすると右図のような表示になり、設定したパーセンテージに容量が達すると警告表示され録画が停止します。



(2) ブロック再生：設定した日数分のデータしか再生できないようにします。



例えば、すでに 10 日間録画されており、ブロック再生を 2 日と設定した場合、録画データとしては、10 日間記録されていますが、再生は現在より 2 日前までしかできません。

「データ削除」をチェックすると再生制限の設定した日付分だけ録画します。

例えば再生制限の設定期間を 3 日に設定すると、現在の時刻を基準として 3 日間のデータのみを保持し、

3日以前のデータは上書きされます。削除されたデータは復元できませんのでご注意ください。

(3) ディスクマネージャー：HDDを追加した場合の認証や取り外し、フォーマットなどを行います。



タイプ：HDDもしくはその他のドライブの接続場所です。IntA (内部AのHDD)、IntB (内部BのHDD)、CD/DVD (DVDドライブ)

モデル：各タイプのモデル名が表示されます。

不良ブロック：HDD内の不良ブロックを表示します。不良ブロックの数が表示されます。0は正常です。

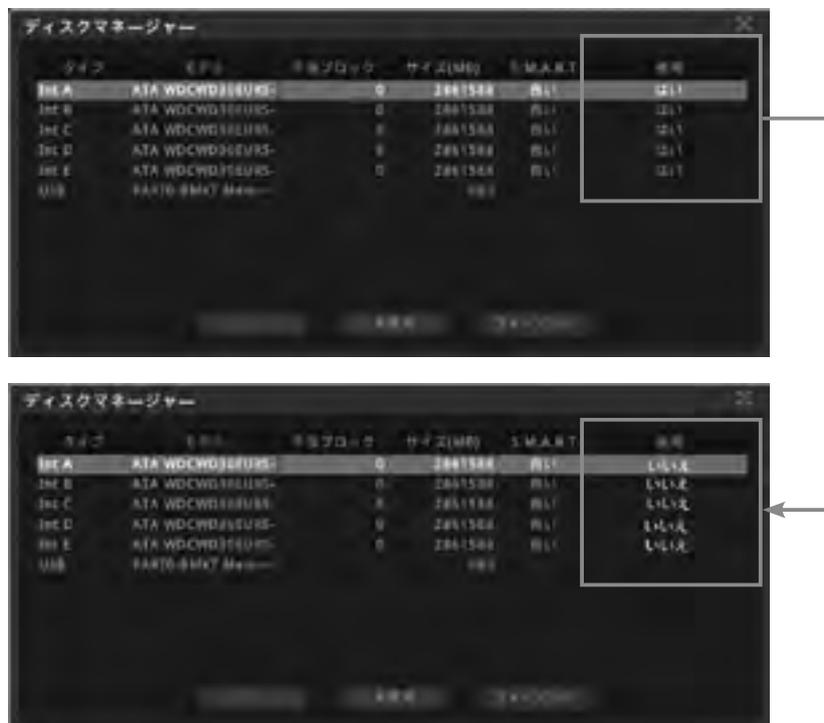
サイズ：各ドライブの容量を表示します。

S.M.A.R.T：HDDが正常かどうかの状態を表示します。

使用：HDDの使用状況を表示します。「はい」は使用、「いいえ」は未使用です。

#### (4) RAID マネージャー

※ RAIDを設定する前に、ディスクマネージャーで使用が「はい」になっているディスクすべてを「いいえ」にします。



「RAID マネージャー」を選択すると下図のようなウインドウが表示されます。



上図で「RAID 作成」で「RAID メンバ」と「RAID レベル」(1,5,10) を選択します。  
(選択した RAID メンバ (選択された HDD) により RAID 設定可能な RAID レベルが選択可能になります。)  
[RAID 作成] ボタンを選択します。



RAID 作成が完了すると、上図のように「RAID 情報」に RAID ID、RAID レベル、RAID メンバ、RAID 状況が表示されます。情報を確認して「更新」ボタンを選択します。

※ RAID メンバに選択しなかったハードディスクは、自動的にスペアと処理されます。  
※ スペアとは、RAID のハードディスクに問題が発生した場合、RAID に参加するようになるハードディスクです。



再度、ディスクマネージャに移動して RAID を選択します。  
使用項目を「いいえ」から「はい」に変更します。

### 2-1-3 ユーザー設定

ユーザー 1 ～ 10 までに使用できる機能権限をそれぞれに与えられます。  
admin (管理者) は全ての権限があります。



ユーザーを切り替えます。

 ボタンでユーザー一覧を表示し選択します。

選択したユーザーの権限が表示されます。

 ボックスが青くなっている項目に権限があります。

#### ID & パスワードの変更

ユーザー ID は最大 20 文字、パスワードは 5 文字で変更可能です (パスワードは数字のみ)。  
admin (管理者) はパスワードは変更可能ですが、ID は変更できません。



ID&パスワードの変更ボタンを選択すると上図のように表示されます。



変更したい項目を選択すると上図のようにキーボードが表示されますので入力します。  
入力が終わったら「エンター」ボタンを選択します。

## 自動ログイン

初期設定はadminが選択されています。変更する場合はこのボタンを選択し、ユーザーを変更します。



アクティブのこのボタンを外すとDVRの電源投入時に自動ログインされなくなります。DVR起動時に下図のようになり、パスワードを入力してログインしなければ画面が立ち上がりませんのでご注意ください。



## 2-1-4 ユーティリティ



(1)

「DVR名称」：DVRの名前を変更できます。最大20文字で英数のみの入力可能です。

「言語」：DVRの言語を設定します。

「ボタン音」：DVR本体前面のタッチパネルボタンまたはボタン音のオン・オフを選択します。

「DVRキーボードID」：キーボードコントローラによりDVRのすべての機能を使用する場合、キーボードコントローラのアドレスを設定します。

「リモコンID」：リモコンのIDを設定設定できます。

(2)



(2)

【システム情報】：DVRシステム情報が表示されます。F/Wバージョンなどが表示されます。



【システムログ】：

DVR本体のシステムログが表示されます。本体にUSBを差し、「USBメモリにコピー」ボタンを選択するとデータとして保存できます。

録画状態

録画モード：連続

順番	解像度	FPS	画質	ビデオ	オーディオ	
1	1080P	30Hz	30	Q7	6048 Kbps	0 Kbps
2	1080P	30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
3	1080P	30Hz	30	Q7	6008 Kbps	0 Kbps
4	1080P	30Hz	30	Q7	6000 Kbps	0 Kbps
5	1080P	30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
6	1080P	30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
7	1080P	30Hz	30	Q7	6032 Kbps	0 Kbps
8	1080P	30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
9	1080P	30Hz	30	Q7	4536 Kbps	0 Kbps
10	1080P	30Hz	30	Q7	3992 Kbps	0 Kbps
11	1080P	30Hz	30	Q7	6032 Kbps	0 Kbps
12	1080P	30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
13	1080P	30Hz	30	Q7	6008 Kbps	0 Kbps
14	1080P	30Hz	30	Q7	6016 Kbps	0 Kbps
15	1080P	30Hz	30	Q7	6032 Kbps	0 Kbps
16	ビデオなし	-	-	-	-	-

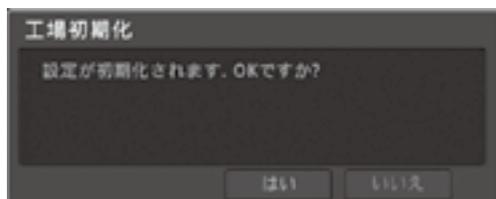
[録画状態]：現在の録画状況が確認できます。



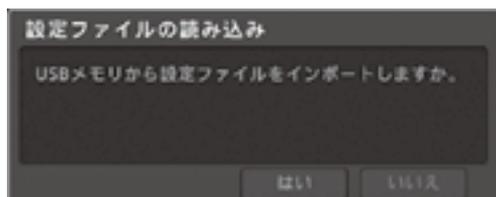
[ファームウェアアップグレード]：

USBメモリよりファームウェアをアップデートすることができます。

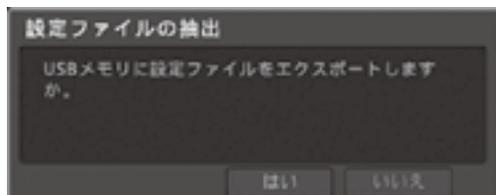
- ①ファームウェアが入っているUSBを差し込みます。
  - ②「ファームウェア更新」ボタンを選択すると上図のようになります。
  - ③アップデートする場合は、「はい」を選択します。
  - ④自動的に再起動しますので、そのままお待ちください。正常に起動したらアップデート成功です。
- ※ファームウェアアップデート中は電源を絶対に切らないでください。



[工場初期化]：設定を工場出荷時に変更します。



[インポート構成]：DVRの設定をUSBメモリから読み込みます。



[エクスポート構成]：DVRの設定をUSBメモリに保存します。

## 2-2 ネットワーク

### 2-2-1 ネットワーク



「タイプ」：ネットワーク設定のタイプを選択します。  
イーサネット / PPPoE を選択します。

#### ▶ イーサネットを選択の場合

「自動アドレス割当 (DHCP)」：オフ / オンを選択します。

#### ▶ オフを選択の場合

「IP アドレス」：IP アドレスを入力します。

「ネットマスク」：ネットマスクを入力します。

「ゲートウェイ」：ゲートウェイ IP アドレスを入力します。

【UPnP ポートフォワーディング】：

初期設定ではオフになっています。UPnP を使用してルーターのポート開放を行う場合はオンに設定します。

#### ▶ PPPoE を選択の場合 (ルータを使わずに、DVR を直接インターネットに接続する場合選択します。)

「ID」：PPPoE 接続の ID を入力します。

「パスワード」：PPPoE 接続のパスワードを入力します。

「DNS1」「DNS2」「DNS3」：それぞれにアドレスを入力します。

「ポート」：初期設定は 80 に設定されています。必要に応じて変更してください。

「帯域幅制限」：DVR からデータを出力する最大伝送速度を設定することができます。初期設定は制限なしに設定されています。

「ビデオストリーミング」：RTSP を利用する場合に設定します。

「P2P クラウド」：WebEye アプリを用いて P2P 接続情報を含んでいるユーザー ID などを登録するか、QR コードをスキャンすると簡単に DVR 接続情報が入力されます。  
※ HS1600F-D/HSC801F-D のみの機能です。

「IP フィルタリング」：リモートからの DVR への接続を制限します。

タイプ：許容・・・特定の IP アドレスからのみ接続を許可します。

断り・・・特定の IP アドレスからの接続を拒否します。

1 ~ 10：許可または、拒否する IP アドレスを入力します。IP アドレスは、開始のアドレスと終わりのアドレスを入力します。

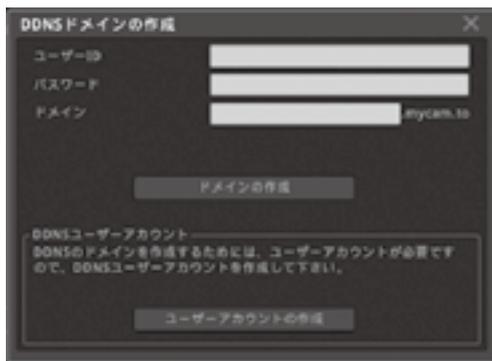


## 2-2-2 DDNS

DDNS サービスはDVR1 台につき1 アカウントを無償でご利用いただけますが、機能を常時保証するものではありません。確実に安定してサービスをお求めの場合には、ISP 提供の固定IP アドレスサービス (IP1) などをご利用ください。



DDNSを使用する場合は  **使用** をチェックします。  
WNS (mycam.to) / カスタム DDNS を選択します。  
WNS (mycam.to) を使用する場合 [ドメイン作成] ボタンをクリックします。

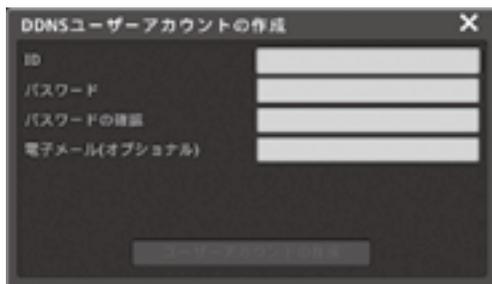


### ドメインの作成

WNSを使用する場合は、DDNSのユーザーアカウントが必要になります。ユーザーアカウントが無い場合は、先に [ユーザーアカウントの作成] よりアカウントを作成してください。(1つのアカウントで複数のドメインの登録に利用できます。)

DDNSユーザーアカウントの [ユーザー ID] と [パスワード] を入力後、作成したい [ドメイン] を入力して [ドメインの作成] ボタンをクリックします。

※ドメインは2～32文字の英数字および- (ハイフン) です。



### ユーザーアカウントの作成

[ユーザーアカウントの作成] ボタンをクリックして、WNSで利用するユーザーアカウントを作成します。

http://mycam.to にアクセスして、登録したユーザーアカウントでログインすると作成したドメインの状況を確認できます。

「ID」「パスワード」及び「パスワードの確認」を入力して、「ユーザーアカウントの作成」ボタンをクリックします。

※ID、パスワードは4～15文字の英数字、- (ハイフン) 及び , (カンマ) です。また、電子メールの入力は任意です。

## 2-2-3 WRS (Webgate Dynamic IP Registration Server)



WRSを利用すると、複数のDVRをグループ化して管理することができます。  
 使用する場合は[使用]にチェックを入れます。

[状態]：WRSに登録されていれば、日付/時間が表示されます。  
 [URL]：WRSサーバーのURLです。初期値を利用してください。  
 [グループ]：サイトのグループIDを入力します。グループIDから接続されているDVRを検索できます。

## 2-2-4 Radius



RADIUSを利用すると、DVRのユーザー認証をRADIUSサーバーが一括で管理します。使用する場合は[使用]にチェックを入れます。

[IPアドレス]：RADIUSサーバーのIPアドレスを入力します。  
 [ポート]：RADIUS認証のポート番号を入力します。

## 2-3 デバイス

### 2-3-1-① カメラ (型番に「P」の付かない製品)



チャンネルを有効：使用するカメラチャンネルをチェックします。  
 チェックを外すとカメラを接続しても映像が出ません。録画もできなくなります。



削除ボタン

カメラ名称を変更できます (英数のみの入力)。デフォルトでCam1 ~ Cam16と表示されているところを選択すると、画面上にキーボードが表示されますのでこのキーボードを使用して名称を変更します。



「etc」：接続されたカメラ映像のカラー調整をすることができます。  
 ※HS1600F-D/HSC801F-Dのみの機能です。

### 2-3-1-② カメラ (型番に「P」の付く製品)



**チャンネルを有効**：使用するカメラチャンネルをチェックします。チェックを外すとカメラを接続しても映像が出ません。録画もできなくなります。



削除ボタン

カメラ名称を変更できます (英数のみの入力)。デフォルトでCam1 ~ Cam16と表示されているところを選択すると、画面上にキーボードが表示されますのでこのキーボードを使用して名称を変更します。

**[PoC (Power over Coaxial Cable) 状態]** : PoCカメラの接続状況が確認できます。



(上図左) PoCカメラが接続されていない状態  
(上図右) PoCカメラが接続されている状態

### 2-3-2 PTZ



**ポート**：なし、COM2、COM3、CoCから選択します。CoCはPoC対応カメラのみ使用できます。

**デバイス**：カメラプロトコルを選択します。カメラプロトコル搭載モデル一覧は87ページにありますのでご確認ください。

**アドレス**：カメラIDを選択します。1～255で選択します。

**ボーレート**：1200,2400,4800,9600,19200,38400,57600,115200から選択します。

**etc**：カメラプリセットなどを設定します。

**キーボード**：DVRをコントロールできコントローラーを設定します。



**「プリセット」**：選択されたプリセットをロード/セーブ/クリアすることができます。

**「AUX」**：選択された補助機能をオン/オフすることができます。

### 2-3-3 モニター



自動画面切り換え (SEQ)：ライブ映像の自動画面切替の設定です。

切替編集画面



切替順番や表示チャンネルを編集できます。

シーケンス動作区間：  
1～16の範囲で選択できます。

**イベントポップアップの有効化：**  
モーションやセンサーが反応した場合、ポップアップさせる場合、チェックを入れます。その際にポップアップさせる秒数を選択します。(2～10秒、または維持を選択します。)

MULTI ボタン編集画面



本体正面の【MULTI】ボタンの順番や表示チャンネルを編集できます。

シーケンス動作区間：  
1～16の範囲で選択できます。  
画面切替の順番や切替時間などを設定します。

### 2-3-4 オーディオ



オーディオチャンネル：音声入力の番号です。  
ビデオチャンネル：音声入力番号に対応する映像入力番号を選択します。オーディオ録音：音声を録音する場合はオン、録音しない場合はオフを選択します。  
オーディオゲイン：音声音量を設定します。  
オーディオ出力チャンネル：ライブ画面でどのチャンネルの音声入力を出力するかを選択します。  
「現在、全画面表示のビデオチャンネルのオーディオ出力」：音声チャンネルと同期がとれている映像入力を単画面表示した場合に音声を出力します。

常にオーディオチャンネル1：1番の音声入力を常に出力  
常にオーディオチャンネル2：2番の音声入力を常に出力  
常にオーディオチャンネル3：3番の音声入力を常に出力  
常にオーディオチャンネル4：4番の音声入力を常に出力

## 2-3-5 テキスト



テキスト入力の外部機器がある場合に設定を行います。

## 2-4 イベント

### 2-4-1 イベント



※イベント使用のチェックを外すと、センサー・モーションなどの設定をしても動作しませんのでご注意ください。

#### イベント使用

スケジュール：[常にイベント監視]、[カスタム]から選択します。[カスタム]を選択すると[カスタムスケジュール]が選択できます。[カスタムスケジュール]ボタンを選択すると下図のように表示されます。



スケジュール追加：時間と曜日を選択し「追加」ボタンを選択すると緑色に変化します。

スケジュール除去：「削除」ボタンや「初期化」ボタンで選択したスケジュールをクリアします。

#### イベントアクション

イベント連動：リレー 1、リレー 2、リレー 3、リレー 4、ブザー、電子メール、FTPから選択します。

「リレー 1、2、3、4」：イベント発生時に設定した時間だけリレー出力します。

「ブザー」：イベント発生時に設定した時間だけ本体ブザーを通して通知します。

「電子メール」：イベント発生時にメールでイベント発生を通知します。

「FTP」：イベント発生時のチャンネル映像をイメージでFTPサーバーに転送します。



**HDDエラー**：ハードディスクエラーが出たとき

**ファンエラー**：FANエラーが出たとき

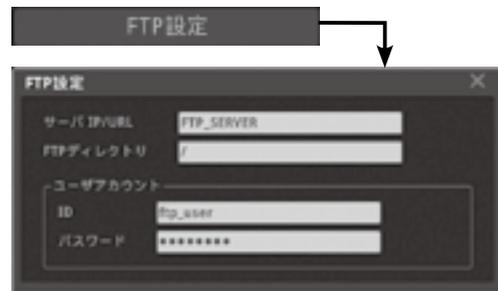
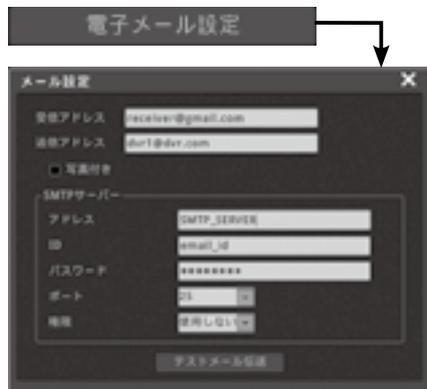
**WRSの登録失敗**：WRS登録失敗時

**電源オン**：DVRの電源を入れたとき

**パスワードエラー**：パスワードエラー時

**RAIDエラー**：RAIDエラー時。ノーマルイベント/システムイベントソースともにチェックで設定がONになります。

**アクション時間**：イベントが発生時にどれぐらいの期間で信号を発生させるかを選択します。イベント連動で「電子メール」「FTP」を選択した場合、詳細の設定をする必要があります。



メール設定/FTP設定ともに必要な項目を入力してください。

## 2-4-2 モーション



モーション機能は画像の変化によって反応するセンサーの一部です。

**ビデオチャンネル**：各チャンネルごとに設定をします。設定したいチャンネルを選択します。モーション検知のチェックを外すとモーション検知が動作しませんのでご注意ください。

**感度**：モーションセンサー感度が最低、1～10、最高から選択設定します。初期値は5になります。

**「領域変更」**：選択したビデオチャンネルの画像上に15×10で領域設定します。領域を選択した部分は緑色に変わります。初期設定は全領域選択されています。



領域変更を終了する場合はをクリックします。

「すべてのチャンネルに適用」：  
このボタンは領域変更をした1つのチャンネルの設定を全チャンネルに適用させます。

### 2-4-3 センサー



センサー設定とその種類の設定を行います。

センサータイプは[ノーマルオープン (N.O)] [ノーマルクローズ (N.C)] のどちらかを選択します。

センサーを使用しない場合は[センサー使用] のチェックボックスを外してください。

### 2-4-4 プリセット



PTZ機能において、本機DVRとPTZカメラがDVR上で制御できるようになっている場合のみの設定です。センサーまたはモーション検出した時、PTZカメラの指定したプリセット番号へカメラを制御することができます。

チャンネル：カメラを選択します。

プリセット設定：センサー、モーション、テキストによってプリセットを選択します。1～16の間でプリセット番号を指定します。

## 2-5 録画

ここでは録画の設定をします。

録画モードは連続録画・マニュアル録画・スケジュール録画の3種類があります。

### 2-5-1 録画



録画モード：連続録画、マニュアル録画、スケジュール録画  
この3つから選択します。

連続録画：選択したプログラムによって録画します。

マニュアル録画：選択したプログラムによって録画しますが、本体フロントパネルの【RECORD】ボタンを押し、【REC】ランプが点灯している状態で録画しています。スケジュール録画：スケジュール設定により録画ができます。

連続録画・マニュアル録画は選択したプログラムによって録画設定が決まります。41 ページの「2-5-2 プログラム」をご確認ください。

スケジュール録画の場合、「スケジュール設定」を行います。時間曜日ごとにどのプログラム (A～I) を設定するかを表により設定します。



プログラムを選択していない場合は、録画できませんので注意してください。

プログラム設定についての詳細は、41 ページの「2-5-2 プログラム」をご確認ください。

プログラム：録画プログラムを指定 (A～I)

時間：時間範囲を指定します。

「追加」：選択したプログラムを登録します。

【除去】：選択した時間範囲のスケジュールを削除します。

【初期化】：全スケジュールを削除します。

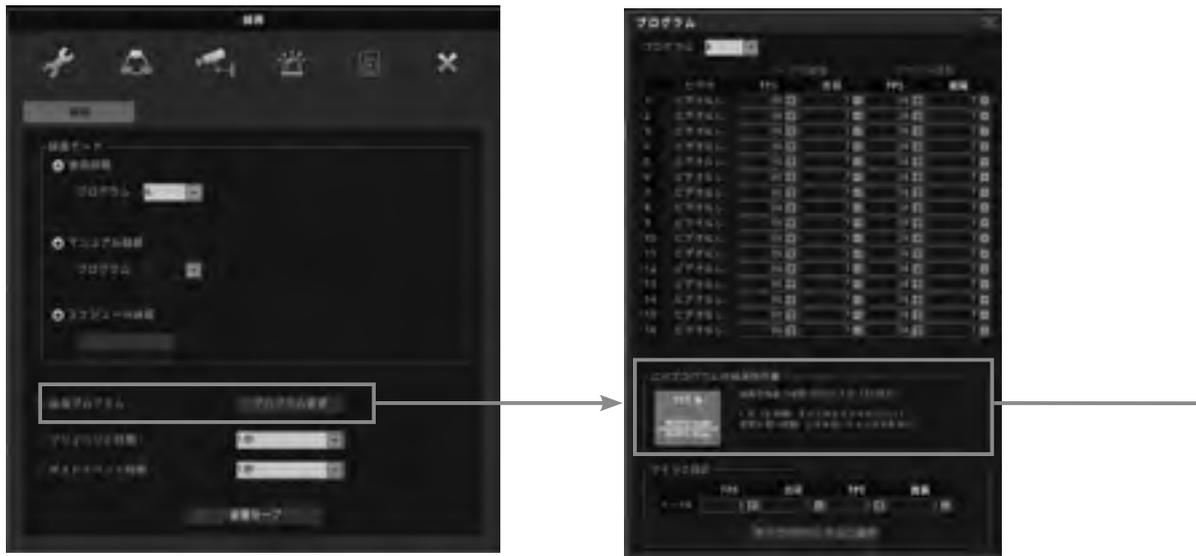
プリイベント時間：イベント発生時の1～5秒前から録画を開始できます。

ポストイベント時間：イベント終了後、どれくらい録画するかを設定します。1秒～30分の範囲で設定できます。イベントが発生した時点から設定した時間だけ記録を行います。



## 2-5-2 プログラム

「プログラムの変更」を押し、通常時の録画設定とイベント時の録画設定をします。



プログラムはA～Iまでの9つ設定ができます。

カメラごとに録画フレーム・画質を設定します。録画をしない場合は、FPSを0にします。

※カメラ入力映像1080p30の場合、各チャンネル最大録画スピードは30fpsになります。

※DVRの機種によって各チャンネルの最大録画スピードは異なります。

### ノーマル録画 (通常時の録画設定)

**FPS**：録画フレーム数を設定します。各チャンネル最大30フレーム可能 (画質7の場合)

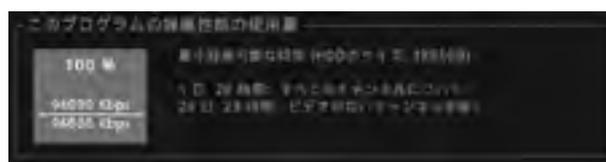
**画質**：録画画質を設定します。低・2～9・高まであり、最高画質は高になります。

### イベント録画 (イベント時の録画設定)

**FPS**：録画フレーム数を設定します。各チャンネル最大30フレーム可能 (画質7の場合)

**画質**：録画画質を設定します。低・2～9・高まであり、最高画質は高になります。

通常時・イベントともに録画フレームを0にすると録画されませんのでご注意ください。



現状の録画設定と搭載されているHDDの容量により録画可能な時間が表示されます。

※あくまで目安ですので録画保存を保証するものではありません。

「クイック設定」：すべてのチャンネルを同じ値にします。



## 4 検索

< HD400F-PDR/800F-PDR/1600F-PDR の場合 >

フロントパネルの【SEAR】ボタンもしくはマウスでステータスバーの [検索] を選択します。

< HDC400F-PD/HDC400F の場合 >

フロントパネルの【SEARCH】ボタンもしくはマウスでステータスバーの [検索] を選択します。

選択すると下図のようになります。



### ①カレンダー/イベント履歴

カレンダーの日付にアンダーラインがある部分が録画データがある印です。



### ②日付/時間・アイコン

検索したい日付と時間を直接入力して時間検索ができます。



### アイコン



- |                               |                                     |                                    |
|-------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 逆早送り | <input type="checkbox"/> 早送り        | <input type="checkbox"/> ライブ画面に戻る  |
| <input type="checkbox"/> 逆再生  | <input type="checkbox"/> 1/2再生      | <input type="checkbox"/> コピーモードに移る |
| <input type="checkbox"/> 一時停止 | <input type="checkbox"/> 選択しているコマンド | <input type="checkbox"/> 分割画面を選択   |
| <input type="checkbox"/> 再生   |                                     | <input type="checkbox"/> 再生映像だけを表示 |
|                               |                                     | <input type="checkbox"/> サムネイル表示   |

### ③イベント履歴表示選択

①のイベント履歴に表示する条件を選択します。



### ④タイムライン/表示選択

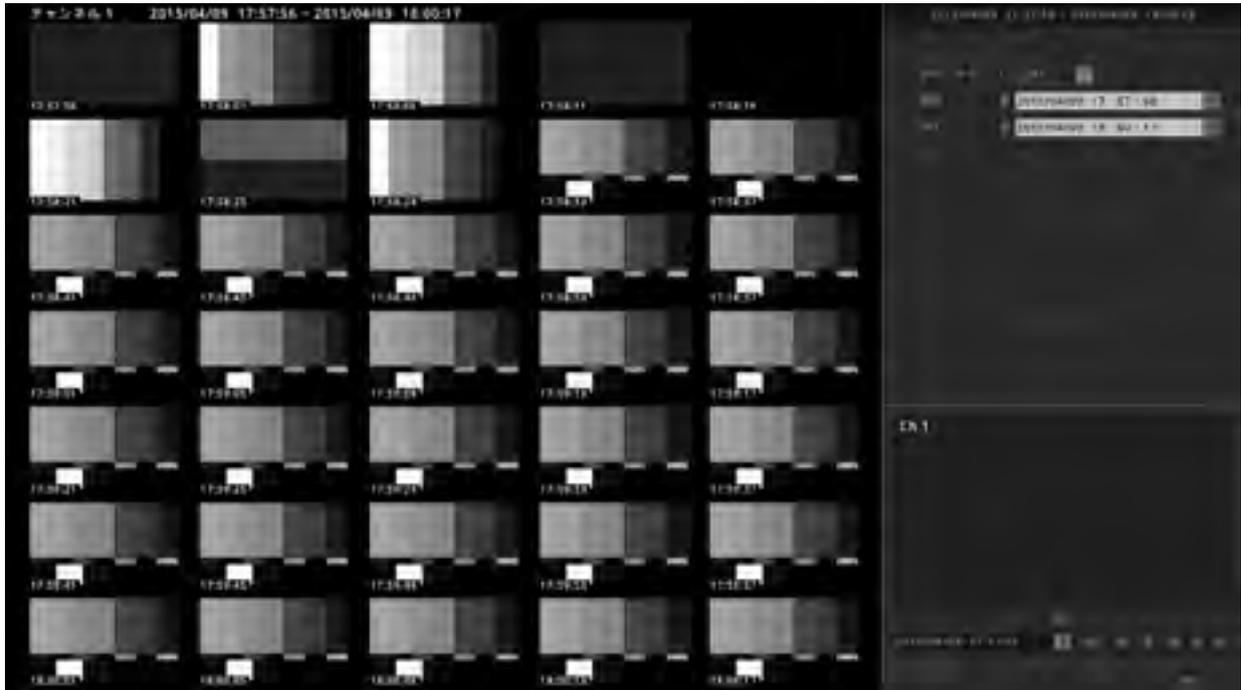
①のカレンダーで選択した日付の時間軸が表示されます。



再生したい時間軸を選択すると②の日付/時間が指定した表示になり、表示された時間の映像が映し出されます。一時停止状態ですのでアイコンで再生ボタンを選択すると再生されます。

## サムネイル検索

選択したカメラ映像の指定した時間を35分割にサムネイル画像で表示します。  
サムネイルより画像を選択すると、再生またはコピーを行うことができます。



通常の検索画面に戻る場合は、終了ボタンを選択します。

## 5 コピー（バックアップ）

フロントパネルの【COPY】ボタンもしくはマウスの右クリックからの【コピー】、ステータスバーからの【コピー】を選択すると下図のように表示されます。



タイプ：EXE、AVIこの2つから選択します。

チャンネル：コピーしたいカメラ番号を選択します。

コピー可能範囲：コピーできる日付/時間が表示されます。

開始：コピー開始時間を選択します。

終了：コピー終了時間を選択します。

ディスクのリスト：接続されているUSBの情報が表示されます。

「予想されるファイルサイズ」：選択した時間のおおよそのデータ量が表示されます。

「開始」：コピーを開始します。

「フォーマット」：バックアップ用のUSB接続されているメディアをフォーマットします。フォーマットするとデータが削除されますのでご注意ください。

### 5-1 EXE コピー

フロントパネルの USB 端子に バックアップメディアを接続します。

※メディアの認識には少し時間がかかります。



「ディスクのリスト」に情報が出ない場合はメディアがうまく認識していませんので、初めに確認をしてください。

- ①タイプをEXEにします。
- ②コピーしたいチャンネルを選択します。全チャンネルを選択する場合は「すべてを選択」ボタンを選択します。
- ③コピーの開始と終了の時間を選択します。
- ④「予想されるファイルサイズ」におおよそのデータ量が表示されますのでメディアの容量よりも少ないことを確認してください。
- ⑤「開始」ボタンを選択するとコピー開始です。

↓ コピー進捗状況



コピーが正常に終了した場合は、左図のように表示されますので「確認」ボタンを選択し、終了です。

※メディアは完了の表示が出るまで取り外ししないで下さい。

## 5-2 AVI コピー

フロントパネルの USB 端子に バックアップメディアを接続します。

※メディアの認識には少し時間がかかります。



「ディスクのリスト」に情報が出ない場合はメディアがうまく認識していませんので、初めに確認をしてください。

- ①タイプを AVI にします。
- ②コピーしたいチャンネルを選択します。AVI はチャンネルは 1 つしか選択できません。
- ③コピーの開始と終了の時間を選択します。
- ④「予想されるファイルサイズ」におおよそのデータ量が表示されますのでメディアの容量よりも少ないことを確認してください。
- ⑤「開始」ボタンを選択するとコピー開始です。



コピーが正常に終了した場合は、左図のように表示されますので「確認」ボタンを選択し、終了です。

※メディアは完了の表示が出るまで取り外ししないで下さい。

## 5-3 コピー再生

### 5-3-1 EXEでのコピー再生

USBメモリーをPCに接続し、内容を確認します。  
メディアを開くと下図のようになります。



USB内にフォルダがあります。  
Bが名前の先頭にあるフォルダがEXEコピーしたもの  
Cが名前の先頭にあるフォルダがAVIコピーしたものになります。

名前	種類	サイズ
B20120123.171600-20120123.171700	アプリケーション	63,480 KB
B20120123.171600-20120123.171700	HTMLドキュメント	3 KB
B20120123.171600-20120123.171700...	テキストドキュメント	2 KB
B20120123.171600-20120123.171700...	テキストドキュメント	0 KB

フォルダを開くと上図のようになります。EXEコピー内容  
アプリケーションを開くとminiplayerが開きデータが再生されます。



miniplayer 上では分割や単画面など選択できます。

### 5-3-2 AVIでのコピー再生

USB メモリーを PC に接続し、内容を確認します。  
メディアを開くと下図のようになります。

C20130124.082541-20130124.082641\_CH1

USB 内にフォルダがあります。C が名前の先頭にあるフォルダが  
AVI コピーしたものになります。

AVI でのコピー再生はチャンネル限定の再生です。



フォルダを開くと上図のようになります。

AVI コピーファイルを選択すると Windows メディア  
プレーヤーなどが開きデータが再生されます。(下図)



## 5-4 miniplayer 説明

miniplayer 画面





### 画像保存ボタン

miniplayer 上の画像を保存する場合に使用します。  
選択した画像が保存できます。  
このボタンを押すと下図のボックスが表示されます。

保存する画像についてコメントが入力できます。

保存する画像に表示した項目をチェックします。

「OK」ボタンを押します。

画像を保存する場所と名前を入力します。  
「保存」ボタンを選択すると画像が保存されます。  
**画像保存の形式はビットマップのみとなります。**



## 印刷ボタン

miniplayer 上の画像を印刷する場合に使用します  
選択した画像が印刷できます。  
このボタンを押すと下図のボックスが表示されます。



印刷する画像についてコメントが  
入力できます。

## 印刷イメージ



「OK」ボタンを選択すると、  
印刷のボックスが表示されま  
すので印刷します。

カメラ番号・録画日時などが  
表示されます。

## 6 Webビューワー

Web ブラウザーを通して DVR に接続し、ライブ監視・検索などが行えます。

### 6-1 PC 推奨環境について

	推奨動作環境
CPU	Intel Core i5 3GHz 以上
メインメモリー	4GB 以上
ビデオメモリー	1024MB 以上 (PCI-E Graphic Card)
ディスプレイ	1920×1080 (32 ビットカラー) 以上
HDD	500GB 以上
OS	Windows7/Windows8
その他	100/1000 イーサネット NIC DirectX9.0 以上

### 6-2 ログイン

接続したい DVR の IP アドレスを入力すると下図のようにログイン表示がされます。

**USER ID**と **PASSWORD** を入力して **LOGIN** をクリックします。



Windows Internet Explorer 8.0 以上でご使用ください。

ログインページで認証されると下図のようになります。接続したDVRのライブ映像が表示されます。



※正しく表示されない場合は以下の内容をご確認ください。

(Internet Explorer11 を例に記載しています。他のバージョンの場合は、同じ内容の設定箇所を変更してください。

A：白い画面のまま、画面が表示されない

①Internet Explorerの右上の歯車マークをクリックし、「互換表示設定(B)」をクリックします。

②DVRのDDNS名(xxxx.mycam.to)または、グローバルIPアドレスを入力して「追加」ボタンをクリックします。



B：表示画面がすべて表示されず画面が切れてしまう。

③画面倍率を100%にしてください。



### 6-3 モニター

① ② ③ ④ ⑤ ⑦

Time	Event	Message
2012.02.07 09:41:29	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:30	3 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:32	2 On	CH2 - Motion Detected
2012.02.07 09:41:28	2 On	CH2 - Motion Detected

#### 6-3-1 ライブ画面

接続されているDVRのライブ画面が表示されます。指定した画面をダブルクリックすると単画面表示され、単画面表示でダブルクリックすると分割画面に切り替わります。

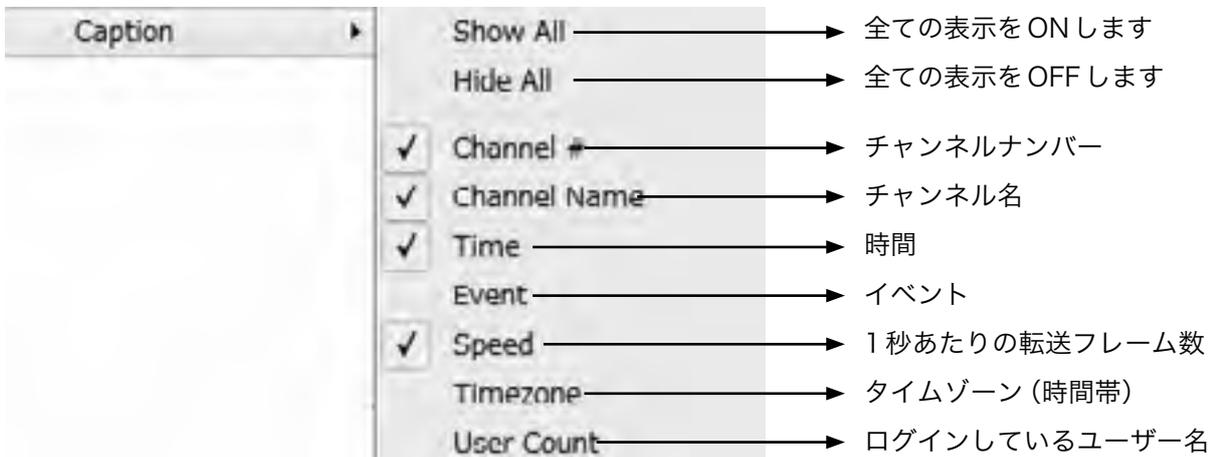


左図のように1つの画面をドラック&ドロップすると表示画面が入れ替わります。



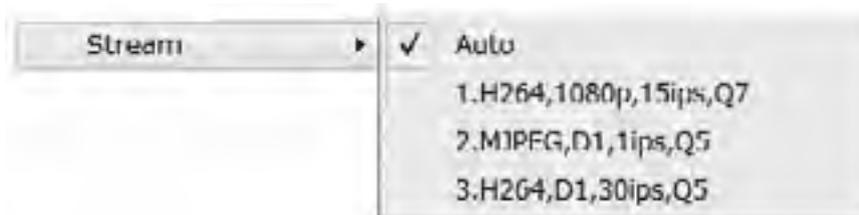
ライブの画面上で右クリックすると上図のようなメニューが出ます。

① **Caption** : カメラの画面表示を設定します。



チャンネルナンバー、名前、時間など  がついている項目が表示されます。

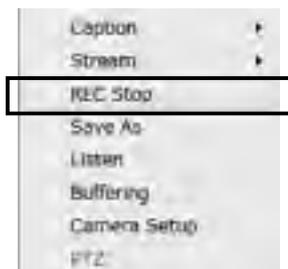
② **Stream** : ライブ画面の解像度とフレーム数を調整します。  
 チェックしているところが現在のライブ表示になります。



変更したい場合は、その項目をクリックしてください。

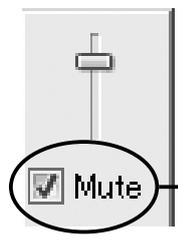
※ネットワーク回線の影響で指定したフレームどおりに表示されないことがあります。

③ **REC Start** : 選択したカメラの録画を開始します。録画を開始したチャンネルの画面に REC 表示されます。録画の秒数も表示されます。録画を停止するときは、再度画面上で右クリックし、[REC Stop] を選択します。  
 また、録画停止時に、録画データの保存場所を指定します。



④ **Save As** : 選択したチャンネルの静止画保存をします。  
bmp、JPEG の選択方法を選び、保存場所を指定します。

⑤ **Listen** : 選択したチャンネルの音声の設定です。



選択すると音声のボリュームスライダーが出てきますので調整します。

Mute にチェックがある場合は、消音状態です。  
チェックを外すとボリュームスライダーで音量の調整ができます。

### 6-3-2 分割ボタン



数字をクリックすると分割表示になります。

単画面、4分割、9分割、13分割、16分割、25分割、36分割になります。

 このボタンはフルスクリーンボタンで、クリックするとチャンネルの映像だけが表示されます。  
もとの表示に戻る場合はキーボードの **[Esc]** ボタンを押してください。

### 6-3-3 Channel、Sensor、Relay、Mic

#### チャンネル表示

接続されている DVR のチャンネルです。  
クリックするたびに ON/OFF が切り替わります。



ON 状態  
(ボタンが青く点灯します)



OFF 状態

#### センサー表示



センサー感知すると  このように変わります。

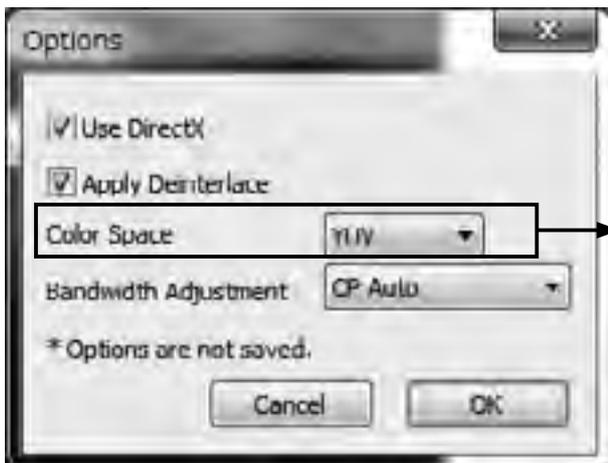
#### リレー表示



リレーが反応すると  このように変わります。

### 6-3-4 オプションボタン

Web ビューワーのオプションです。クリックすると下図のように表示されます。



ライブ映像が正常に表示できない場合は、Color Space を YUV → RGB に変更してみてください。

### 6-3-5 イベントデータ

DVR のイベント履歴が表示されます。



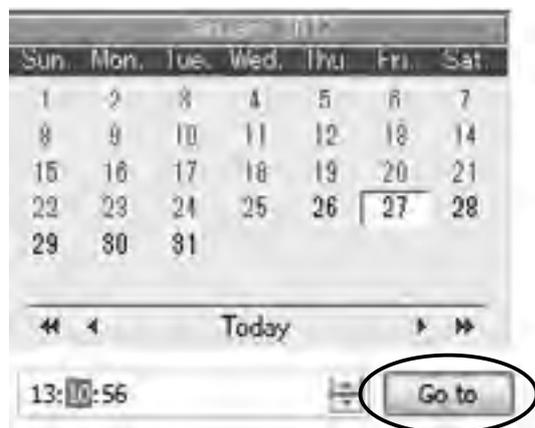
アイコン	機能
	モーションディテクション ON
	センサー入力
	リレー出力
	ビデオ未接続・ビデオ接続

## 7 再生

 をクリックすると下図のように表示されます。  
接続されている DVR の検索画面になります。



### ① 再生したい日付をカレンダーから選択します。



データがある日付が黒く表示されます。

見たい日付をクリックします。

変更したい時間/分/秒をマウスでクリックし青く反転させボタンの変更します。

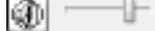
「Go to」ボタンをクリックすると指定した時間の再生が始まります。

次ページに続きます ➡



指定した時間の映像が上図のように表示されます。

② ボタンで再生・逆再生・早送りなど操作できます。

-  再生ボタン
-  一時停止ボタン
-  逆再生ボタン
-  コマ送りボタン
-  逆コマ送りボタン
-  再生スピードボタン (0.5x ~ 64x)
-  音声音量ボタン

③  画面分割ボタン



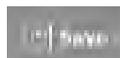
全画面ボタン

全画面から元の画面に戻す場合は、画面右下にマウスを移動させると、下図のようにメニューが出てきます。



Xボタンをクリックすると全画面が終了し、元の画面に戻ります。

④ その他のツール



静止画の保存ボタンです。選択しているチャンネルを保存します。

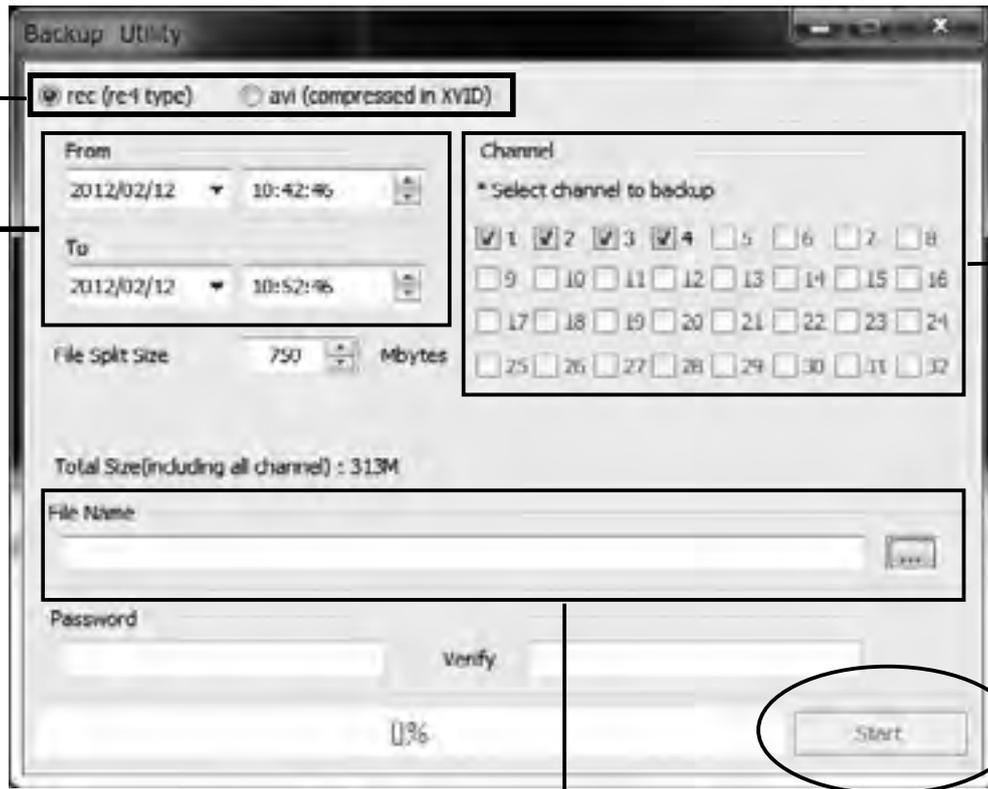


画像印刷ボタンです。PCに接続されているプリンターから印刷できます。



データのバックアップボタンです。

ボタンをクリックすると次ページのようなウィンドウが出ます。



バックアップしたい時間を設定します。

バックアップしたいチャンネルを選択します。

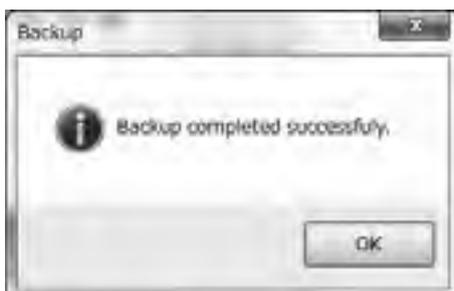
ファイル名とそのファイルを保存する場所を指定します。

**バックアップの種類を選択します。**

バックアップ方法が2種類あります。

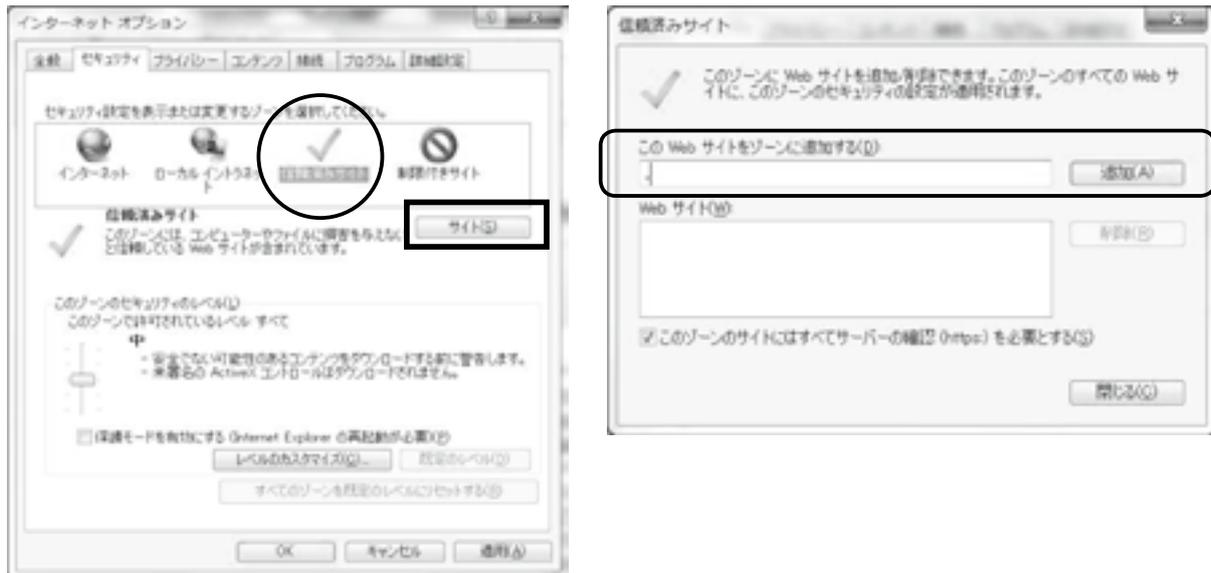
- ① rec (re4 type) はバックアップするチャンネルを自由に選択できます。バックアップしたデータを再生する場合は、本体付属 CD 内の Control Center Std のインストールが必要になります。
- ② avi (compressed in XVID) はバックアップするチャンネルは指定した1チャンネルのみとなります。再生する場合は、Windows メディアプレーヤーなどで再生できます。

**すべて選択し「Start」ボタンをクリックするとバックアップが開始します。**



バックアップが正常に終了すると上図の画面が表示されるため、「OK」ボタンをクリックします。

※指定した場所にファイルがない場合



インターネットオプションで信頼済みサイトを選択しアドレスを追加してください。

 このボタンをクリックすると検索画面からライブ画面に戻ります。

**Web ビューワーを終了する場合は、「画面を閉じる」ボタンで終了します。**



# 第 3 章 Control Center Std 取扱説明

.....

# 1 製品概要

## 1-1 Control Center について

Control Center は、Webgate の DVR を最大 1000 台まで登録できる、統合管理ソフトです。このソフトを使うことにより、遠隔の DVR のライブ再生、録画検索、録画再生、録画データのバックアップおよび設定を行うことができます。このソフトでは、デュアルモニタ環境時、最大 128 台のカメラ映像を同時に表示することができます。

## 1-2 PC 推奨環境について

	推奨動作環境
CPU	Intel Core i5 3GHz 以上
メインメモリー	4GB 以上
ビデオメモリー	1024MB 以上 (PCI-E Graphic Card)
ディスプレイ	1920×1080 (32ビットカラー) 以上
HDD	500GB 以上
OS	Windows7/Windows8
その他	100/1000 イーサネット NIC DirectX9.0 以上

## 1-3 プログラムインストール

(1) DVR に付属の CD 内の、「Contorl Center Setup vX.XX.X.exe」をクリックします。

※インストールには、PC に対する管理者権限が必要です。

(2) インストールする言語を選択して、「OK」をクリックします。



(3) ライセンス契約書を確認うえ、「同意する (A)」ボタンをクリックします。



(4) インストールするコンポーネントを選んで「次へ (N)」ボタンをクリックします。



(5) インストール先を選んで「インストール」ボタンをクリックします。



(6) インストールのオプションを選んで「閉じる (C)」ボタンをクリックします。



(7) スタートプログラム内の [Digital Image World]-[Control Center] にソフトのアイコンが作成されます。

各アイコンの説明

アイコン	説明
	<p>Control Center Monitor ライブ閲覧する際に利用します。</p>
	<p>Control Center Playback 録画している映像を閲覧する際に利用します。</p>
	<p>Control Center Configuration Tools 遠隔で DVR の設定変更をする際に利用します。</p>
	<p>Tools DVR の特別な使い方をする場合に利用するソフト類が入っているフォルダーです。</p>
	<p>Uninstall Control Center Std をパソコンからアンインストールする場合に、利用します。</p>

## 1-4 クイックスタート

### (1) 起動と終了

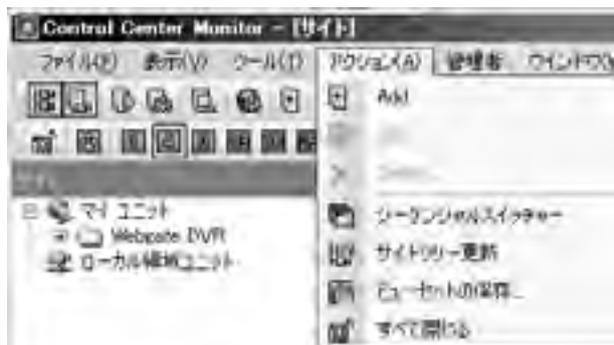
Control Center Monitor のアイコンをクリックすると、最初にログイン画面が表示されます。ログインするために、ユーザー名とパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしてください。(初期値 ユーザー名：admin、パスワード：admin)  
終了するときは、メニューバーから[ファイル(F)]-[終了(X)]をクリックするか、プログラムウィンドウ右上の  ボタンをクリックして終了します。



### (2) DVR の登録

ソフトを利用するためには、まず閲覧したいDVRをソフトに登録する必要があります。(初回のみ)

- ①メニューバーの[アクション(A)]-[Add]をクリックします。



- ②ユニット登録画面で以下の順序に従い、サーバー情報を入力して、「OK」ボタンをクリックします。

- i . 以下のDVRアドレス情報を入力して、「Find」ボタンをクリックします。

**固定IPアドレス/ダイナミックIPアドレス**：「固定IPアドレス」を選択します。

**アドレス**：DVRのアドレスを入力します。(WRSを利用している場合は、WRSのアドレスを入力します。)

**ポート**（「ポート」ボタンをクリック）：DVRのポート番号を入力します。(初期値 80)

- ii . 以下のDVRユーザー情報を入力して「OK」ボタンをクリックします。

**ユーザー ID**：DVRに登録してあるユーザー IDを入力します。

**パスワード**：上記ユーザー IDのパスワードを入力します。

(初期値 ユーザー名：Admin パスワード：12345)



次ページに続きます 

### ③ DVR へ接続

接続したい DVR を展開し、表示するカメラをクリックします。



## 2 Control Center Monitor

Control Center Monitor は、ライブ映像を閲覧するソフトです。

### 2-1 画面



#### 2-1-1 ツールバー

ボタン	説明
	サイトツリーを隠す
	イベントビューを隠す
	録画再生プログラム(Control Center Playback)を実行
	構成ツール(Control Center Configuration tool)を実行
	イベント検索ユーティリティを実行
	オプションメニューを表示
	ユニット/ビューセット/マップ登録*
	ユニット/ビューセット/マップ編集*
	ユニット/ビューセット/マップ削除*
	ビューセットの保存*
	サイトツリーの更新
	登録済みのカメラをシーケンス表示
	アラーム時の画面ポップアップ設定
	表示画面のフレームレートを変更
	表示中のモニター画面やマップを閉じる

	ソフトのバージョンを表示
	表示中のモニター画面やマップを閉じる
	メインビューをフルスクリーン表示
	画面分割(1/4/ 9/13/16/25/36/49/64)
	モニター画面の解像度を変更
	表示中のモニター画面のシーケンス表示設定
	表示中のモニター画面のアラーム時、ポップアップ表示設定
	マップ表示位置を設定
	マップを重ねて表示
	マップを並べて表示

(\* Control Center Monitorの権限設定で使用権限がある場合のみ表示)

## 2-1-2 サイトツリー

アイコン	説明
	登録済みユニットのフォルダー
	DVR管理用フォルダー
	DVR
	すべてのカメラチャンネルをモニター中のDVR
	アラーム検知のDVR
	ログインに失敗したDVR
	接続に失敗したDVR
	カメラ
	カメラ(表示中)
	ネットワーク上の未登録のDVRを表示
	ビューセット
	マップ
	マップ (表示中)

## 2-1-3 メインビュー

モニター画面、またはマップ画面を表示します。

## 2-1-4 イベントビュー

アイコン	説明
	表示中のカメラ
	モーション検知中のカメラ
	非表示のカメラ
	接続していないDVRのカメラ
	センサー
	検知中のセンサー

-  接続していないDVRのセンサー
  -  リレー
  -  動作中のリレー
  -  接続していないDVRのリレー
  -  マイク
  -  利用中のマイク
  -  接続していないDVRのマイク
  -  接続中のDVR
  -  接続していないDVR
- 



## 2-2 ライブ表示

### 2-2-1 ライブ表示画面



画面上部には、チャンネル、ユニット情報と、簡易録画、PTZ、オーディオ制御のボタンが表示されます。画面下部には、時間とイベント情報、フレーム数が表示されます。

### 2-2-2 画面分割

ボタン	説明
	ライブイメージ保存(re4形式)
	PTZ
	オーディオ on/off
	表示しているモニター画面を閉じる



ツールバー上の上記の各ボタンをクリックすると画面分割を変更できます。  
(1/4/9/13/16/25/36/49/64)

### 2-2-3 全画面表示

ツールバー上の ボタンをクリックすると、メインビューを全画面表示します。  
キーボードの【ESC】キーを押下すると、元の画面に戻ります。

### 2-2-4 画面移動

移動元の画面上でマウスの左ボタンをクリックしたまま画面を移動させ、移動先で左ボタンを離すと画面の入れ替えができます。

### 2-2-5 ユニット情報表示

表示画面上で右クリックをし、[Caption]を選択すると画面上部に表示されているユニット情報を変更できます。



### 2-2-6 表示解像度

表示画面上で右クリックをし、[Stream]を選択すると解像度等を変更できます。

Auto を選択すると、解像度はモニターのサイズと PC パフォーマンスに基づいて自動で設定されます。

### 2-2-7 イベント



モーションが発生すると、表示画面上に  アイコンが表示されます。

センサー反応があると、表示画面上に  アイコンとセンサー番号が表示されます。

## 2-2-8 イメージの保存

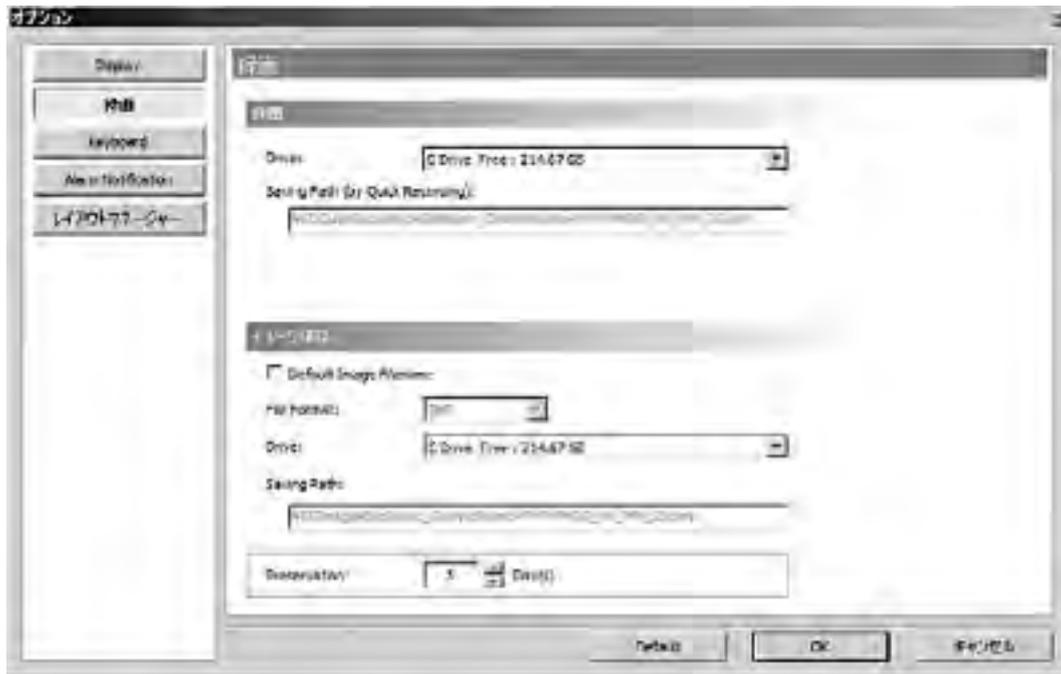
### 動画保存

表示画面上で右クリックをし、[開始] をクリックするか、表示画面上の  ボタンをクリックすると、表示している画面の映像がPC上に保存されます。

録画時間は最大で10分です。



録画データは、[ツール (T)]-[オプション]-[録画] に設定されているフォルダーに保存されます。

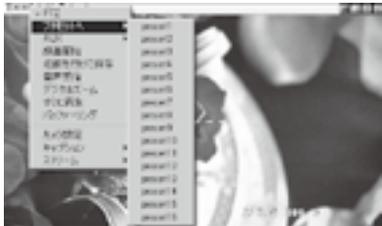


## 2-2-9 音声制御

スクリーン画面上の  のボタンまたは、右クリックメニュー内の [オーディオ] をクリックすると音声を聞くことができます。(音声の入力がある場合)



## 2-2-10 PTZ



### 制御

①スクリーン画面上で右クリックメニュー内の [PTZ] をクリックするとPTZカメラの制御ができます。



②制御画面では、画面内で動かしたい方向をクリックするとその方向に動きます。また、画面の左側または、右側にマウスカーソルを動かすとズーム (左側) とフォーカス (右側) の調整ができます。



### プリセット

③右クリックメニュー内の [プリセットへ] を選択すると、登録してあるプリセットを呼び出すことができます。

### 特殊操作

右クリックメニュー内の [AUX] を選択するとカメラの特殊操作 (Tour の選択など) ができます。実行できるコマンドは、カメラにより異なります。

## 2-2-11 すべてのモニター画面を閉じる

ツールバー上の  ボタンをクリックすると、表示中のすべてのライブ表示画面を閉じます。

### 3 Control Center Playback

Control Center Playback は、録画再生を行うソフトです。  
Control Center Monitor から [ツール (T)]-[再生] を選択するか、Windows のスタートメニューから、Control Center Playback をクリックすると起動します。

#### 3-1 画面



#### 3-1-1 ツールバー

#### 3-1-2 メインビュー

ボタン	説明
	ユニットまたは、ファイルを開く
	ユニットとの接続を切断
	前の分割画面を表示
	次の分割画面を表示
	スクリーン調整ダイアログを表示 (静止時のみ有効)
	静止画をファイルに保存 (静止時のみ有効)
	静止画を印刷(静止時のみ有効)
	メインビューを全画面表示
	画面分割(1/4/9/13/16)
	テキスト検索(静止時のみ有効)
	モーション検索 (静止時のみ有効)
	プレビュー検索 (静止時のみ有効)
	ソフトのバージョンを表示

モニター画面を表示します

### 3-1-3 再生制御ビュー

録画データの状況を表示します。

### 3-1-4 ログビュー

イベント発生ログを表示します。選択したイベントをクリックすると、メインビュー画面がログイベント発生時の画面に移動します。

### 3-1-5 HDD状況ビュー

HDDの容量と空き容量を表示します。また、HDD上に記録されているデータの先頭の日時也表示します。

### 3-1-6 チャンネルビュー

ここで選択したチャンネルをメインビューに表示します。

### 3-1-7 カレンダービュー

ここで選択した日付のデータを呼び出すことができます。データが記録されている日は、日付が黒で表示されます。



## 3-2 ユニット/バックアップファイルを開く

Control Center Playbackを利用する時は、ツールバーの[ファイル(F)]-[開く(O)]または、 ボタンをクリックして、Unit Explorer(右図)を開き、録画再生するユニットまたは、ファイルを選択します。

## 3-3 検索

### 3-3-1 イメージ情報インジケータ検索

イメージ情報インジケータは、記録データのイベント発生状況などを色によって表します。閲覧したいイメージをダブルクリックすると、その記録映像がメインビューに表示されます。なお、各色のイベントについては、以下の通りです。

色	情報
赤	センサー
黄	モーション
青	手動録画、スケジュール録画、連続録画
橙	プレアラーム、ポストアラーム
紫	テキスト

また、以下の操作をすることにより、インジケータの表示を切り替えられます。

- スクロールバー

画面下部のスクロールバーを動かすことにより表示時間を変更できます。

- 表示時間間隔変更

画面上部のボタンをクリックすると表示時間間隔を変更できます。(右図)

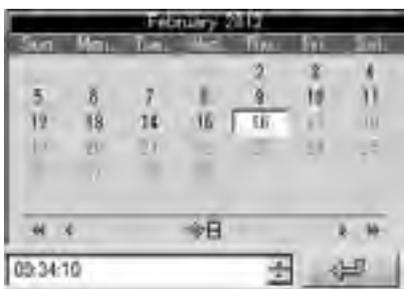


### 3-3-2 ログ検索



ログビューから表示したいイベントを選択すると、選択した映像が表示されます。  
 カテゴリを変更することにより、イベントの種類を絞り込むことができます。

### 3-3-3 カレンダー検索



カレンダービューより、録画再生したい日時を入力後、ボタンをクリックすると選択した映像が表示されます。

## 3-4 録画再生

### 3-4-1 録画再生ボタン

ボタン	説明
	1フレーム前を表示
	逆再生
	停止
	再生
	1フレーム後を表示
	イベントイメージのみを表示 (選択時は  ボタンに変わる)
	再生速度を指定します。(0.5x、1x、2x、4x、8x、16x、24x、32x、64x、All) Allは、すべてのフレームを高速で再生
	表示をユニットのすべてのチャンネルを表示か、選択したチャンネルだけを表示かを選択

### 3-4-2 音声再生

音声再生は、1画面表示で再生速度が1xの時だけ可能です。

### 3-5 静止画

#### 3-5-1 静止画の調整



映像の停止状態で調整したいチャンネルを選択し、ツールバーの[画像]-[画像調整]または、ボタンをクリックすると、選択した画面がスクリーン調整画面に表示されます。

各項目のスライダーを動かすと静止画を調整することができ、各ボタンをクリックすると初期値に戻ります。

ボタン	説明
	ブライツネス
	コントラスト
	(未使用)

また、スクリーン調整画面の画像上でズームしたいところをマウスで選択するとデジタルズームすることができます。



#### 3-5-2 静止画保存

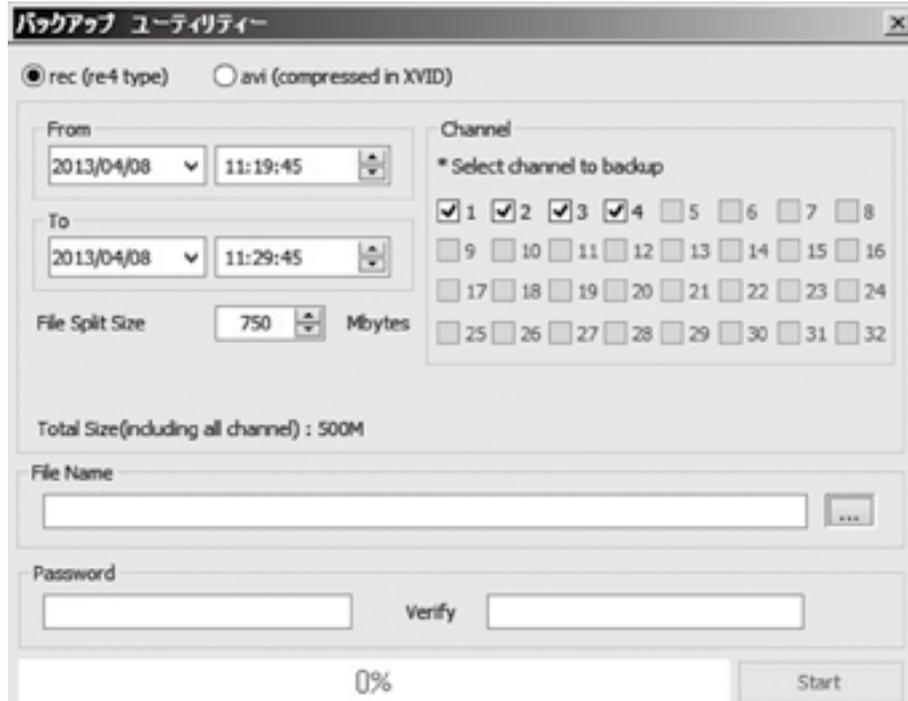
映像の停止状態で保存したいチャンネルを選択しツールバーの[画像]-[保存]または、 ボタンをクリックすると、画面をファイル (\*.bmp,\*.jpg) として保存できます。キャプション画面で、コメント等を入力すると、入力内容が画像に記録されて保存されます。

#### 3-5-3 静止画の印刷

映像の停止状態で保存したいチャンネルを選択しツールバーの[画像]-[印刷]または、 ボタンをクリックすると、画面を印刷できます。キャプション画面で、コメントを入力すると、入力内容と共に印刷されます。

.....

### 3-6 バックアップ



HDD 状況ビューの  ボタンをクリックすると、バックアップユーティリティが起動し、映像を PC 上にバックアップすることができます。

名称	説明
rec/avi	保存するファイル形式を選択
From-To	保存開始日時と終了日時を選択
Split file size	保存するファイルを指定したサイズで分割
Copy Miniplayer	rec形式で保存したファイルを閲覧できるソフトをコピー
チャンネル	保存するチャンネルを選択
ファイル名	保存するファイル名を指定
File Protection	保存するファイルにパスワードをかける場合に入力 Re-typeには、パスワードと同じものを入力（入力確認のため）
開始	バックアップ開始

## 4 Control Center Configuration Tool

Control Center Configuration Toolは、DVRの設定を行うソフトです。

Control Center Monitorから[ツール(T)]-[構成]を選択するか、Windowsのスタートメニューから、Control Center Configuration Toolをクリックすると起動します。

### 4-1 画面



#### 4-1-1 サイトツリー

登録済みのDVRのリストが表示されます。

#### 4-1-2 メニュー

システムの設定メニューが表示されます。

#### 4-1-3 設定ページ

システムの各設定項目が表示されます。設定変更後に、「適用」ボタンをクリックすると、設定が適用されます。



# 第 4 章 WNS (Webgate Naming Service) 設定手順

## 内容

この章では、Webgate 社の DDNS サービスである、WNS の設定登録の手順を記載しています。DVR で DDNS を利用される場合、この手順を参考に設定してください。

### WNS アカウント登録 (WNS アカウントが無い場合のみ)

1. PC のブラウザソフトで WNS のサイト (<http://mycam.to>) へアクセスし、**Create an account** ボタンをクリックします。
2. 各項目を入力して、Register ボタンをクリックします。



3. 登録内容に問題がなければ、以下の画面が表示されるため、OK ボタンをクリックします。



## サブドメイン登録

サブドメイン登録は、DVR がインターネットに接続している状況で行ってください。  
(DVR がインターネットに接続していない状況では、登録できません。)

- 1.WNS のサイト (http://mycam.to) にアクセスし、WNS アカウント情報 (ID,Password) を入力後、**Sign in** ボタンをクリックしてください。
- 2.Add ボタンをクリックします。



3. 各項目を入力し、Add ボタンをクリックして、登録を完了です。



## サブドメイン登録状況の確認

WNS にサインインすると、すでに登録してあるドメインが表示されます。



### 各項目の説明

#### Edit (登録ドメインの編集削除)

Modify (青字) : 内容を修正するときはこのボタンを使用します。

Delete (赤字) : ドメインの削除をするときにこのボタンを使用します。

#### Status (登録ドメインの状況)

: ドメインの更新が 30 分以内あった場合

: ドメインの更新が 30 分以上 1 日以内にあった場合

: ドメインの更新が 1 日以上ない場合 (製品動作の確認が必要)

:

## 資料

### カメラプロトコル搭載モデル

モデル	メーカー
Keyboard KBD300A, WGI SPD1800/2600	Webgate
WKC-100 Keyboard	Webgate
PELCO (P) , PELCO (D)	Pelco
BOSCH AutoDome, TC8560X-4	Bosch
Sony EVI-D3x	Sony
VT VPT-4x	VT
AD SpeedDome	AD
Sungjin SJ3728R1	Sungjin
Samsung SCC641	Samsung Electric
Panasonic WV-CS850	Panasonic
SDZ160/330, Samsung SPD, KeyboardSCC100A Samsung SRX-100B	Samsung Techwin
LG GAC-PT2	LG
MELIT-Lilin FastDome	Merit
ELMO PTC200C	ELMO
Canon VC-C4	Canon
HTC-230S	Dongyang Unitech
RVision	RVT
Elbex	Elbex
Honeywell 755/655, HRX-2000, HTX-3000, ScanDome2	Honeywell
VIDO	VIDO
VICON	Vicon
Hunt	Hunt
ORX-1000	Sysmenia
Fine CRR-1600	LiveEye
Tokina	Tokina
Kodicom KRE	Kodicom
Nuvico	Nuvico



.....

# 保証書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された内容により修理、または交換いたします。

※修理は、お買い上げの販売店に必ずこの保証書を添えてご依頼ください。

※この保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

型式：	シリアル No：
保証開始日：	年 月 日より 1 年間
お客様	貴社名
	ご住所
	電話番号
販売会社名	

## 保証規定

○次のような場合は、保証期間内でも対象外となります。

- ・ 本保証書のご提示が無い場合
- ・ 本保証上の所定事項の未記入、または字句を書き換えられた場合
- ・ 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障
- ・ お買い上げ後の輸送、移動時の落下などお取り扱いが不適当な為生じた故障
- ・ 接続している他の機器に起因して生じた故障
- ・ 取扱説明書に記載の使用法または注意に反するお取り扱いによって生じた故障
- ・ 弊社以外の作業による、改造、調整、部品交換などをされた場合
- ・ 消耗品の交換

※ HDD の損傷につきましては、保証の対象外です。

本保証書は、日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

本保証書は、保証書の規定に明示の期間無償修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の有償修理などについてもお受けいたします。尚、修理によって交換された製品および部品は株式会社店舗プランニングにその所有者が移転します。詳しくはお買い上げの販売店あるいは株式会社店舗プランニングにお問い合わせください。

※本製品および本製品の取扱説明書の内容の一部または全部を弊社の許諾なしに複製することは出来ません。本製品を運用した結果の他の影響につきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品は将来改良のため予告無く変更する場合があります。

本製品、またはこの機器をシステムの一部としてご利用になる製品を販売される場合は弊社までご相談ください。

## 株式会社店舗プランニング

〒151-0061 東京都渋谷区初台 1-46-3 シモモビル 2F TEL：03-3378-4901 FAX：03-3378-4906

## メモ

### ネットワーク設定

項目	設定値
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	■ ■ ■
ローカルIPアドレス	■ ■ ■
WRS (DDNS) アドレス	.mycam.to
ID/パスワード	ID                      パスワード
サブネットマスク	■ ■ ■
ゲートウェイ	■ ■ ■
ネットワークパスワード	
備考	

### ルーター設定    ルーター ID (初期値) 例 : admin,administrator,root

項目	設定値
ID	
パスワード	
グローバルアドレス (固定IPアドレス)	■ ■ ■
ローカルIPアドレス	■ ■ ■
サブネットマスク	■ ■ ■
ゲートウェイ	■ ■ ■
備考	

### WRS 設定 (<http://mycam.to>)

ユーザー ID	
パスワード	

販売代理店